

P C 9 8

PC98-NX SERIES

VA36D/WX • VA33D/WX • VA33D/WT VA33D/WS • VA30H/WS

(Windows 95 インストール)

<mark>活用ガイド</mark> ハードウェア編

本機の機能

周辺機器を使う

システムの設定





このマニュアルは、パソコンの取り扱い方法について説 明するものです。

周辺機器やオプションを接続してパソコンを拡張する場合、パソコンの設定を変更する場合などに、このマニュア ルをご利用ください。

1999年 5月 初版

対象機種

(Windows 95インストールモデル)

VersaPro NX : VA36D/WX、VA33D/WX、VA33D/WT、VA33D/WS、VA30H/WS

808-875488-310-A

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

▲ 警告 注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。

▲ 注意
耳を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想 定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示しま す。



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または 事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定され ることを示しています。このほかに、毒物注意、破裂注意、高温注意 についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

、 チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明していま す。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータ の消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可 能性があります。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説 しています。
	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
Wordモデル	Excel97、Word98、Outlook98があらかじめインストールされているモ デルのことです。
一太郎モデル	一太郎9、三四郎9、花子9、Sasukeがあらかじめインストールされて いるモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
CD-ROMドライブ搭載 モデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
12.1インチ液晶ディス プレイ搭載モデル	12.1インチの液晶ディスプレイを搭載しているモデルのことです。
13.3インチ液晶ディス プレイ搭載モデル	13.3インチの液晶ディスプレイを搭載しているモデルのことです。
14.1インチ液晶ディス プレイ搭載モデル	14.1インチの液晶ディスプレイを搭載しているモデルのことです。

「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」

「 スタート ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「 設 定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を 選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記 正式名称

Windows、 Windows 95	$\texttt{Microsoft}_{\circledast}$ $\texttt{Windows}_{\circledast}$ 95 <code>Operating System</code>
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
一太郎9パック	一太郎9・花子9パック(一太郎9、三四郎9、花子9、ATOK12)
Excel 97、Word 98、 Outlook 98	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®

このマニュアルで使用しているイラストと画面

・本機のイラストや記載の画面は、モデルによって異なることがあります。

・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラ ムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進の ための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普 及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。 対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、 それぞれの基準ならびにマーケ、ロゴ」は参加各国の間で統一されています。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

対象機種	電話回線
VA36D/WX、VA33D/WX、 VA33D/WT、VA33D/WS、 VA30H/WS	A99-0107JP

電波障害自主規制について

LAN内蔵モデルの場合:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置 です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適 切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

上記以外のモデルの場合:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置 です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信 機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱い をしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリバック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの 瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不 都合が生じることがあります。

レーザ安全基準について

CD-ROMドライブ搭載モデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802, IEC825) クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお 気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセ ンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらず いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備 や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害な どが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisync、モバイルメールを除く、詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧をお読みください)。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の 侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、および Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商 標です。

商標「三四郎」は株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾 を受けています。

「一太郎」花子」ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎9・花子9パック」Shuriken JSasuke」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「一太郎9・花子9パック」は株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9・花子9パック」にかかる 著作権その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、Intellisync およびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標で す。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

Celeronは、Intel Corporationの商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

輸出する際の注意事項 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりま せん。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、 当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

[©]NEC Corporation 1999 日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

_	

PART



本機の機能 1
各部の名称
表示ランプ5
キーボード
キーの使い方
キーボードを設定する10
日本語入刀の使い方
ボインティングデバイス 14
NXバッドの使い方
ホイノティノクテハイスを設定する
内蔵ハードティスク
領域の確保とフォーマット
ノロッヒーナイスクトフィブ
使用できるフロッピーディスクの種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
CD-ROMドライブ(CD-ROMドライブ搭載モデルのみ)26
CD-ROMのセットのしかたと取り出し方
画面表示機能
表示を調整する
表示できる解像度と表示色 31
バーチャルスクリーン(12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ).33
バッテリで本機を使う35
バッテリの充電
ハッテリで本機を使つときの注意
バッテリ伐重の唯認
バッテリパックの交換
省電力機能
省電力機能の種類 43
スタンバイモード
サスペンド / レジューム機能 45
ハイバネーション機能 48

パワーマネージメント	51
セキュリティ機能	52
本機のセキュリティ機能	52
セキュリティ機能の使用例	53
パスワードを設定しているときの電源の入れ方	54
赤外線通信機能	55
赤外線通信	55
赤外線通信機能を使えるようにする	55
	50
	57
ホリュームコントロールを使って調即する	57
内蔵モデム (FAXモデム内蔵モデルのみ)	61
電話回線との接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	61
	63
ネットワーク通信機能 (LAN内蔵モデルのみ)	66
100BASE-TXの概要	67
リンククーノルについて	60
ユニバーサル管理アドレス	70
運用上の注意	70
VersaPro NXマネジメント機能(LAN内蔵モデルのみ)	71
マネジメント機能	71
運用管理機能	72
周辺機器を使う	75
接続できる周辺機器	76
周辺機器を利用する	79
周辺機器を利用するための知識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	79
プリンタを使う	83
プリンタを接続する	83
プリンタを設定する	84
外部ディスプレイを使う	88
CRTディスプレイを接続する	88
プロジェクタを接続する	90



	外部ディスプレイの設定	90
PC力	」ードを使う	92
	PCカードのセットのしかたと取り出し方 PCカードの設定	93 95
メモ	UKRAM)の増設	96
	増設RAMボードの取り付けと取り外し	96
ポー	トバーを使う	02
	ポートバーの取り付け方と取り外し方	102
その	他の機器を使う1	05
	シリアルコネクタ	105
	パラレルコネクタ	105
	USBコネクタ	106
	マウス / テンキーボード用コネクタ	107
	DCJ779	107
シフ	マテムの設定	09
BIOS	・ セットアップメニュー 1	10
	BIOSセットアップメニューを使ってできること	110
	BIOSセットアップメニューを日本語表示にするには	110
	BIOSセットアップメニューを使う	111
	→ 小市田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	113
	設定項目一見	120
付錄	录 1	21
本機	のお手入れ	22
機能	一覧1	24
	型番の読み方と機能仕様	124
	仕様一覧	125
	内蔵FAXモデム機能仕様 FAXモデム内蔵モデル)	127
	内蔵LAN機能仕様(LAN内蔵モデル)	129
割 り i	込みレベル・DMAチャネル1	30
	割り込みレベルとDMAチャネルについて	130
æ		24
糸	לו 1	31



PART

4



本機の機能

本機の各部の名称といろいろな機能について説明しています。

このPARTの内容

各部の名称 表示ランプ キーボード ポインティングデバイス 内蔵ハードディスク フロッピーディスクドライブ CD-ROMドライブ(CD-ROMドライブ搭載モデルのみ) 画面表示機能 バッテリで本機を使う 省電力機能 セキュリティ機能 赤外線通信機能 サウンド機能 内蔵モデム(FAXモデム内蔵モデルのみ) ネットワーク通信機能(LAN内蔵モデルのみ) VersaPro NXマネジメント機能(LAN内蔵モデルのみ)



各部の名称

本機の各部の名称と配置について説明しています。それぞれの機能や取り扱い方については、参照ページをご覧ください。



Tel:03-3438-8879 Fax:03-5473-8614





ツメ

両方のツメを立てることによって、本体の角度調節ができます。





電源ランプ

- ・緑点灯 電源が入っている状態。または、スタンバイ状態やサスペンド状態。
- ・黄色点灯 バッテリ容量が少ない
- ・オレンジ点灯 . バッテリ容量が残りわずか
- ・消灯 電源が切れている、またはハイバネーション状態

バッテリ充電ランプ

- ・オレンジ点灯 . バッテリ充電中
- ・消灯.....ACアダプタが接続されていない、または充電完了

サスペンド/スタンバイランプ

- ・緑点滅 サスペンド状態
- ・消灯 サスペンド状態ではない

ハードディスクアクセスランプ日

- ・緑.....アクセス中
- ・消灯アクセスしていない

フロッピーディスクアクセスランプ 💾

- ・緑.....アクセス中
- ・消灯アクセスしていない

キャップスロックキーランプ A

- ・緑【Caps Lock】がロックされている
 英字を入力すると大文字になります。
- ・消灯【Caps Lock】がロックされていない 英字を入力すると小文字になります。

スクロールロックキーランプ 🛍

- ・緑.....【Scr Lock】がロックされている
- ・消灯【Scr Lock】がロックされていない

ニューメリックロックキーランプ

・緑.....【Num Lock】がロックされている

キーを押すとキー前面の文字が入力されます。

・消灯【Num Lock】がロックされていない

キーを押すとキー上面の文字が入力されます。

キーボード

キーボードの基本的な使い方を説明します。

キーの使い方



特殊なキーの使い方

キー操作	説明
【Num Lock】	ー度押すとニューメリックロックキーランプ が点灯し、キー前面に青で表示されている 数字や記号を入力できるようになります。 もう一度押すとニューメリックロックキーラ ンプが消灯し、キー上面の文字が入力でき るようになります。
[Shift]+[Caps Lock]	ー度押すとキャップスロックキーランプが 点灯し、ローマ字を入力すると大文字が入 力されます。 もう一度押すとキャップスロックキーランプ が消灯し、ローマ字を入力すると小文字が 入力されます。
【Alt】+【半角/全角】 または 【半角/全角】MS-IME98使用時のみ)	ー度押すと日本語入力システムがオンに なり、日本語が入力できるようになります。 もう一度押すと日本語入力システムがオフ になり、日本語が入力できなくなります。
【Alt】+【カタカナ ひらがな】 (MS-IME97、MS-IME98使用時)	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードになり、キー上面のローマ字の組み合わせで日本語を入力できるようになります。
[Caps Lock]	日本語入力システムがオンになっていると き、一度押すと英数字が入力されるように なります。
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっていて 英数字が入力されるモードになっていると き、一度押すとひらがなやカタカナを入力 できるようになります。
[Fn]	他のキーと組み合わせて機能を実行します(P.9)。

ホットキー機能【Fn】の使い方)

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。 組み合わせが可能なキーとその機能は【Fn】と同じ色(青)でキー上面に印字されています。

機能	キー操作	説 明
ハイバネーション	【Fn 】+ 電源スイッチ	ハイバネーションにします(p.48)。
ディスプレイ 切り替え _//回	[Fn]+[F3]	別売のCRTディスプレイが接続されているとき、キーを押すごとに、「両方 表示」「内蔵液晶ディスプレイ」 「外部モニター」の順に切り替わりま ず、 p.90)。
スタンバイモード し	【Fn】+【F4】	スタンバイモードにします。
画面の伸縮	【Fn】+【F5】	低解像度時に、ディスプレイの画面を 拡大表示するよう切り替えます。
システムスピーカー 灯ハ)/灯)>>	【Fn】+【F6】	システムスピーカーのオン / オフをし ます。
節電レベル選択	[Fn]+[F7]	パワーマネージメントレベルを変更して、望みの節電レベルを選択します (p.51)。
輝度を上げる ▲·〇·	[Fn]+[F8]	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が増加します(8段階)(p.30)。
輝度を下げる ▼ 〇	[Fn]+[F9]	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が低下します(8段階)(p.30)。
スクロールロック	【Fn】+【F12】	【Scr Lock】の役割
プリントスクリーン	【Fn】+【Ins】	【Prt Scr】の役割
システムリクエスト	【Fn】+【Del】	【Sys Rq】の役割
右Windows	【Fn】+【 🗃 】	右【日本の役割
Break	【Fn】+【Pause】	【Break】の役割
End	[Fn]+[Home]	【End 】の役割

【Fn】+【F3】~【F12】で設定した内容は、電源を切ったり再起動したりすると解除されます(【Fn】+【F7】) 節電レベル選択)を除く)。

キーボードを設定する

1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロー ルパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする 「キーボードのプロパティ」が表示されます。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウ左上の「速度」「言語」 報」の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

- ・文字入力時の繰り返し入力のタイミング調節
- ・カーソルの点滅速度の調節
- ・日本語入力システムの選択
- ・レイアウトの設定

「速度」タブでの設定

表示までの待ち時間

-つのキーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間 を調節します。

表示の間隔

-つのキーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を 調節します。

カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調節します。

「言語」タブでの設定

言語

よく使う日本語入力システムを一覧から選び、「標準に設定」をクリッ クすると、その日本語入力システムが「標準の言語」欄に表示され、 登録されます。

追加

「追加」ボタンをクリックして「言語の追加」ウィンドウを表示させ、追加 したい言語を選びます。 プロパティ

日本語入力システムを一覧から選んで、「プロパティ」ボタンをクリックすると、環境設定のウィンドウが表示されます。「ローマ字 / かな入力、「入力モード / 方式、「句読点の種類」などを設定できます。

削除

削除したい言語を一覧から選んで、「削除 ボタンをクリックすると、そ の言語が一覧から削除されます。

言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選択できます。

タスクバー上に状態を表示

「タスクバー上に状態を表示」をクリックして ☑ にすると、日本語や 日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューがタス クバーに表示できます。

「情報」タブでの設定

キーボードの種類

現在使用しているキーボードの種類が表示されます。本機以外の別 売のキーボードを使用する場合の設定を行うこともできます。

別売のキーボードを使うには

参照 別売のテンキーボードやキーボードの接続 PART2の「その他の機器を使う」 (p.107)

日本語入力の使い方

本機では、次の日本語入力システムが使用できます。

- ・一太郎モデル : ATOK12とMS-IME97(既定値はATOK12)
- ・Wordモデル :MS-IME98とMS-IME97(既定値はMS-IME98)
- ・その他のモデル :MS-IME97

入力方法や操作方法については、各日本語入力システムの「ヘルプ」をご 覧ください。

日本語入力のオン、オフを切り替えるには

オンにするには

- 1 タスクバーの右にある 🎤 をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オン」をクリックする これで日本語入力がオンになりました。

オフにするには

- 1 タスクバーの右にある 📝 をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オフ」をクリックする これで日本語入力がオフになりました。

MS-IME98の「ヘルプ」を参照するには(Wordモデルのみ)

- 1 MS-IME98のツールバーから「ヘルプ」ボタン20をクリックする
- 2 メニューの「目次とキーワード」をクリックする
- 3 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 4 「ヘルプ」を終了したいときは区をクリックする

MS-IME97の「ヘルプ」を参照するには

MS-IME97のツールバーから「ヘルプ」ボタンをクリックする
 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
 「ヘルプ」を終了したいときは図をクリックする

ATOK12の「ヘルプ」を参照するには(一太郎モデルのみ)

1 ATOK12パレットから「メニュー」ボタンをクリックする



2 メニューの中から「ヘルプ」メニュー 「ヘルプ」をクリックする
 3 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
 4 「ヘルプ」を終了したいときは区をクリックする



ポインティングデバイス

本機には、ポインティングデバイスとしてNXパッドが内蔵されています。 NXパッドは、コントロールパネルを使ってより使いやすいように設定できます。

NXパッドの使い方

ポインタ(カーソル)の移動

パッド上で指を動かすと、指の動きに合わせて画面上のポインタ(カーソル) が動きます。



クリックとダブルクリック

左または右のクリックボタンを押します。

1回押すことを「クリック」、すばやく2回続けて押すことを「ダブルクリック」といいます。



タップ

クリックボタンを押す代わりに、指先でパッドを軽くたたいてクリックする方法 をタップといいます。1回たたくことをタップ、2回連続してたたくことをダブル タップといいます。それぞれクリック、ダブルクリックするのと同じことです。



ドラッグ

アイコンやフォルダの上にポインタを合わせ、左クリックボタンを押したまま指をパッド上で軽くすべらせると、ドラッグできます。



アイコンやフォルダの上にポインタを乗せた状態で、パッドに2回続けて触れ、2回目に触れたときにパッドから指を離さずにスライドさせてもドラッグできます。



✓チェック?(「コントロールパネル」「パワーマネージメント」「電源のプロパティ」「パ ワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を しないでください。NXパッドが正常に動かなくなります。

ポインティングデバイスを設定する

Windowsでポインティングデバイスをより使いやすく設定することができます。

1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする 「マウスのプロパティ」が表示されます。



1

本機の機能

「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウの左上の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

・ボタンの設定

- ・ポインタデザインの選択
- ・ポインティングデバイスの動作の調節
- ・方向の調節
- ・オートジャンプの設定
- ・タッピングの調節

・ジェスチャーの設定(NXパッド使用時のみ設定可能)

「ボタン」タブの設定

ボタン設定

右きき用、左きき用、それぞれに合わせて左右のクリックボタンの設定ができます。

ダブルクリック速度

ダブルクリックのクリック間隔の調節を行います。

Mボタンの設定

「ボタン設定」欄で「3ボタンモードを使用する」を ▼(オン)にすると Mボタンの設定ができます(本機のNXパッド使用時は設定できません)。

Mボタンの機能を使うと、対応アプリケーションでパン機能などを使うことができます。

「ポインタ」タブの設定

デザイン

ポインタのデザインを変更することができます。

「動作」タブの設定

アクセラレーション

パッド上で指を素早く動かすことで、ポインタの移動速度を「速度」欄 で設定した以上に速くすることができます。パッド上でゆっくり指を動 かしたときは「速度」で設定した速度で動きます。 速度

ポインタの動作速度を調節します。

軌跡

「表示する」を 🔽 (オン)にすると、ポインタの軌跡が表示されます。

「方向」タブの設定

方向設定

パッド上で指を動かした方向と、画面上のポインタの移動方向とを調整します。マウスポインタが正しい方向に動かないときなどは、ここで 調整することができます。

オートジャンプ

オートジャンプ

ウィンドウやダイアログボックスを開いたときに、ポインタをボタンの上やウィンドウ左上のコントロールメニューボックス、ウィンドウの中央などに自動的に合わせるように設定できます。

タッピング

タッピング

▶ (オフ)にすると、タップが効かないように設定できます。

タッピング速度

タップする速度を調節します。タップの間隔(指をパッドに触れてから 離すまで)を調整することで、まちがって触れただけではタップにな らないように設定できます。

ドラッグロックの設定

タッピングによるドラッグをしている場合のドラッグロックの設定ができます。ドラッグしている途中で、指を離してもドラッグしたままの状態を保つことができます。

タイピング

キーボードからキー入力しているときに、タップの機能が働かないように設定できます。キー入力時にまちがってタップされるのを防ぐことができます。キー入力が終わったら、タップは有効になります。

ジェスチャー

コーナータップ

パッド部の左上角や右上角をタップする動作に、右ボタンやMボタンの役割を割り当てることができます。

イージースクロール

・オートスクロール

スクロールバーが表示されているウィンドウにポインタを合わせ、 NXパッドの左下または右上の角に指を置くと、画面をスクロール させることができます。

・スクロール領域

NXパッドのパッド部分のうち、イージースクロール機能で使用する部分を、「スクロール領域」といいます。数字を大きくするほど、 スクロール領域がひろがります。

・クイックスクロール

スクロールバーが表示されているウィンドウにポインタを合わせ、 NXパッドのスクロール領域を指でなぞると、画面をスクロールさ せることができます。ただし、一部のアプリケーションや、スクロー ルバーが隠れている場合は、スクロールしないことがあります。

・ホイールエミュレーション

「ホイールエミュレーションを使う」を
▼(オン)にすると、NXパッドの右端を指でなぞる操作が、ホイール付マウスのホイールを動かす操作と同じになります。

内蔵ハードディスク

ハードディスクは高速で回転する円盤 (ディスク)上に、Windows 95や アプリケーションなどのソフトウェアや、それらで作成したファイルを磁気 的に記録して、読み出すための精密装置です。強い衝撃や過度の重量な どが加わらないよう、取り扱いにご注意ください。

また、大切なデータを保護するため、定期的にデータのバックアップをとる ようおすすめします。

✓ チェック? 本機に内蔵されているハードディスクは、非常に精密に作られています。 特に、データの読み書き中(ハードディスクアクセスランプの点灯中)には、少しの衝撃が故障の原因となる場合がありますので、ご注意ください。 ハードディスクが故障すると、大切なデータが一瞬にして使えなくなってしまう ことがあります。 特に、ご自分で作成された大切なデータなどは、再セットアップしても元通りに はできません。 大切なデータは、フロッピーディスクなど、ハードディスク以外の媒体にこまめ にバックアップ(コピー)をとっておくことをおすすめします。

領域の確保とフォーマット

本機は、ご購入時の状態では、次のようにハードディスクが領域確保されて います。

- ・Cドライブ:2Gバイト(FAT16ファイルシステム)
- ・Dドライブ:残りの領域(FAT32ファイルシステム)

ハードディスクの領域を削除した場合や、外付けのハードディスクを増設した 場合などには、ハードディスクの領域の確保が必要です。次の手順にした がって領域の確保とフォーマットを行ってください。

領域の確保

1 「スタート」ボタン 「プログラム」で「MS-DOSプロンプト」をク リックする

「C:¥WINDOWS>」が表示されます。

2 ハードディスクの容量と領域の情報を確認する

FDISKと入力し、【Enter】を押す

「大容量ディスクのサポートを可能にしますか(Y/N)」と表示されたら「Y」を選んで【Enter】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されたら「4. 領域情報を表示」 を選ぶ

- 表示された画面で、ハードディスクの容量を確認する
- 【Esc】を押す

「C:¥WINDOWS>」と表示されます。

- 3 ハードディスクの容量が8192Mバイト以下の場合はFDISK /X と入力し、[Enter]を押す ハードディスクの容量が8193Mバイト以上の場合はFDISKと入 力し、[Enter]を押す
- **4** キーボードからNを入力し、【Enter】を押す FDISKオプション画面が表示されます。

Yを選択すると、FAT32で領域が作成されます。FAT32を利用するには、 『活用ガイド ソフトウェア編』のPART2「FAT32ファイルシステムの利用」 をご覧ください。

- 5 キーボードから「1」を入力し、【Enter】を押す 領域を作成する画面が表示されます。
- 6 キーボードから「2」を入力し、【Enter】を押す 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されます。
- ✓ チェック! 確保される領域が、入力した領域のサイズより大きくなる場合があります。 FAT16で領域確保するときに、「2,047Mバイト」と入力すると、実際に領域確保 されるサイズが「2,052Mバイト」などの値になり、FAT16では領域確保できない 場合があります。その場合には、2,045Mバイトなど2,047Mバイトより小さい値 を入力してください。

7 キーボードの【Enter】を押す 「拡張MS-DOS領域を作成しました」」と表示されます。

8 キーボードの【Esc】を押す 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力して ください、」と表示されます。

- 9 サイズを入力して【Enter】を押す 「論理MS-DOSドライブを作成しました、ドライブ名は変更または追加 されました」と表示されます。
- 10 拡張MS-DOS領域がなくなるまで手順9を繰り返し、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる 「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り 当てられています」と表示されます。
- **11** キーボードの[Esc]を3回押す 「C:¥WINDOWS > 」の表示に戻ります。
- **12** キーボードからEXITと入力し、【Enter】を押す Windows 95の画面に戻ります。
- **13**「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする 「Windows 95の終了」画面が表示されます。
- **14**「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

フォーマット

領域を確保したら、続いてハードディスクをフォーマットします。

- ✓ チェック! すでに使用されているドライブをフォーマットすると、そのドライブに保存されていたすべてのデータが消えてしまいます。フォーマットをする際は、十分注意してください。
 - 1 マイコンピュータ」をダブルクリックする
 - 2 新たに領域を確保したドライブをクリックする
 - **3** メニューバーの「ファイル」「フォーマット」をクリックする フォーマットの画面が表示されます。
 - 4 「通常のフォーマット」をクリックする
 - 5 「スタート」ボタンをクリックする 確認の画面が表示されます。

- 6 「OK」ボタンをクリックする フォーマットが始まります。 しばらくすると、フォーマットが終了してフォーマットの結果の画面が表示されます。
- 7 「閉じる」ボタンをクリックする スキャンディスクの実行を促す画面とヘルプが表示されます。

スキャンディスクについては、次項の「ハードディスクのメンテナンス」をご 覧ください。

- 8 「OK」ボタンをクリックする
- 9 「フォーマット」の画面をクリックする
- 10「閉じる」ボタンをクリックする
- 11 ヘルプの内容に従って、スキャンディスクを実行する 複数の領域を確保したいときは、手順2~11の操作を繰り返してくだ さい。

ハードディスクのメンテナンス

Windows 95には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つ ためのメンテナンスソフトが組み込まれています。

スキャンディスク

ハードディスクの表面やハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。次の手順で操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システム ツール」で「スキャンディスク」をクリックする 「スキャンディスク」ウィンドウが表示されます。
- 2「エラーチェックをするドライブ」の一覧から、チェックするドライ ブをクリックする ここではハードディスクドライブを選びます。

3「開始」ボタンをクリックする チェックが始まります。

チェックには数分から数十分かかることがあります。チェックが終了すると、 「結果レポート」が表示されます。

デフラグ

ハードディスクは長い間使っていると断片化がおこります。断片化とは、デー タがハードディスクにばらばらに保存されることで、データの読み書きのスピー ドの低下につながります。デフラグを実行すると、ばらばらに記録されたデー タが最適化されます。

デフラグを実行するには、次の手順で操作します。

●●● デフラグ

「フラグメンテーション(断片化を解消する」の意味の省略語。

- 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システム ツール」で「デフラグ」をクリックする
- 2 表示された「ドライブ選択」ウィンドウのリストからデフラグする ハードディスクを選ぶ



3「OK」ボタンをクリックする 「ディスクの最適化 ウィンドウが表示されます。

4 最適化を行う場合は、「開始」ボタンをクリックする 「ディスクの最適化」が終了したら、画面の指示に従い、デフラグを終 了します。

チェック! デフラグの実行中は、絶対に電源を切ったり、再起動したり、サスペンドやハイ パネーションしたりしないでください。

フロッピーディスクドライブ

本機には3.5インチフロッピーディスクドライブが1台内蔵されています。

使用できるフロッピーディスクの種類

本機では、次の形式のフロッピーディスクを使うことができます。

作業内容フォーマット	データの読み書き	フォーマット	ディスクコピー
640Kバイト	-	-	-
720Kバイト			
1.44씨バイト			
1.2Mバイト		-	-

Windows NT使用時は使用可能

- チェック? ・本機では、PC-9800シリーズのパソコンでフォーマットされたフロッピーディス クを使ってシステムを起動することはできません。
 - ・1.2Mバイトのフロッピーディスクは、Windows 95の「ディスクのコピー」でバッ クアップをとることができません。
 - ・「ディスクのコピー」のコピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピー ディスクと同じ容量でフォーマットされたものを使用してください(これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です)。
 - ・フォーマットしていないフロッピーディスクをマイコンピュータなどで選択する と、フロッピーディスクのアクセスランプが点灯し続けたり、フォーマットしよう とするとフォーマット開始までの時間が長くかかる場合があります。これは、フ ロッピーディスクの種別を判別するために時間がかかっているためです。 このような場合は、処理が開始されるまでしばらくお待ちください。
 - ・MS-DOS Ver.6.2以前のFORMATコマンドでフォーマットしたフロッピーディ スクを、MS-DOS プロンプトからDISKCOPYコマンドでディスクコピーするこ とはできません。「マイコンピュータ」のFDドライブアイコンを右クリックし、「メ ニュー」から「ディスクのコピー」を実行して下さい。

フロッピーディスクのセットのしかたと取り出し方

フロッピーディスクのセットのしかた

1 カチッと音がするまでフロッピーディスクをゆっくりと水平に差し 込む

フロッピーディスクがセットされるとイジェクトボタンが少し飛び出します。



フロッピーディスクの取り出し方

 イジェクトボタンを押す フロッピーディスクが少し飛び出します。



2 フロッピーディスクをゆっくりと水平に引き出す

チェック? フロッピーディスクを書き込み、または読み取り中は、フロッピーディスクアクセ
 スランプ
 のが点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスク
 を取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。



CD-ROM ドライブ (CD-ROM ドライブ搭載モデルのみ)

ここではCD-ROMドライブの取り扱いについて説明しています。



CD-ROMドライブのボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の 位置や形状は、イラストと多少異なることがあります。

使用上の注意

- ・CD-ROMドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れに よってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- ・アクセスランプが点灯しているときは、CD-ROMを絶対に取り出さないで ください。本機の故障の原因となります。
- ・ラベルなどが貼ってあるなど、重心バランスの悪いCD-ROMを使用する と、本機の操作中に手に振動を感じることがあります。これは故障の原因と なるため、CD-ROMの盤面にはラベルやテープなどを貼らないでくださ い。
CD-ROMのセットのしかたと取り出し方

CD-ROMのセットのしかた

 ✓ チェック! [CDプレーヤー]または、メディアプレーヤー]を使用する場合、CD-ROMドライ ブにCD-ROMをセットしていない状態では、[CDプレーヤー]や[メディアプ レーヤー]の[EJECT]ボタンを押してもCD-ROMドライブのトレイは出てきま せん。

> トレイを出すためには、CD-ROMドライブのイジェクトボタンを押すか、または、 [マイコンピュータ]を起動して対象となるCD-ROMドライブのアイコンを右ク リックし、[取り出し]メニューを選択してください。

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。



2 手でディスクトレイを静かに引き出す



3 CD-ROMのデータ面(文字などが印刷されていない面)を下にして、傷など付けないようディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む

4 イジェクトボタンに触れないようにディスクトレイ前面を押して、 ディスクトレイを元の位置に戻す



CD-ROMの取り出し方

- **1** イジェクトボタンを押す ディスクトレイが少し飛び出します。
- 2 手でディスクトレイを静かに引き出してから、CD-ROMを取り出す
- **3** イジェクトボタンに触れないようにディスクトレイの前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す

非常時のCD-ROMの取り出し方

ソフトウェアの暴走など不慮の原因で、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこなくなった場合は、非常時ディスク取り出し穴に太さ1.3 mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。



針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

チェック! イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない、といった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使って取り出さないようにしてください。



画面表示機能

本機の液晶ディスプレイで表示できる解像度と表示色について説明しています。

本機は、液晶ディスプレイだけでなく、別売のCRTディスプレイやプロジェク タなどに画面を表示することもできます。

参照 別売のディスプレイやプロジェクタについて PART2の「外部ディスプレイを使う(p.88)

表示を調整する

キーボードの【Fn】キーを使うと、次のような表示の調整ができます。

機能	キー操作	説明
ディスプレイ切り替え _//回	[Fn]+[F3]	別売のCRTディスプレイが接続 されているとき、キーを押すごと に、「両方表示」「内蔵液晶ディ スプレイ」「外部モニター」の順 に切り替わります(p.90)。
画面の伸縮	【Fn】+【F5】	低解像度時に、ディスプレイの 画面を拡大表示するよう切り替 えます。
輝度を上げる	【Fn】+【F8】	キーを押すごとに、液晶ディスプ レイの輝度が増加します(8段 階)。
輝度を下げる ▼-☆	【Fn】+【F9】	キーを押すごとに、液晶ディスプ レイの輝度が低下します(8段 階)。

●●●● 解像度

解像度とは、ディスプレイの画面上に表示できる文字や図面などの情報量を 表すものです。この数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報を表 示することができ、より細かな表現ができます。

本機のカラー液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

解像度	表示色	本機の液晶 ディスプレイ のみに表示	別売の ディスプレイ のみに表示	本機の液晶 ディスプレイ と別売の ディスプレイ の同時表示 ¹
640×480ドット	16色			
	26万色中256色			
	65,536色			
	1,677万色 ²			
800×600ドット	26万色中256色			
	65,536色 ³			
	1,677万色 ²			
1,024×768ドット	26万色中256色	5		5
	65,536色 4	5		5

:【Fn を押しながら【F5 を押して拡大 / 縮小切り替え可能(縮小画面の場合、画面のまわりが 黒く表示される)

: 14.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルおよび13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルでは、画面のまわりが黒く表示される(【Fn】を押しながら【F5】を押して拡大表示可能)

:フルスクリーン表示可能

1:別売CRT未接続時は本機の液晶ディスプレイのみに表示される

2: 本機の液晶ディスプレイでは、ウィンドウアクセラレータのディザリング機能により実現

- 3:12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのご購入時の設定
- 4:14.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデル、13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルのご購入時の設定
- 5:14.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルおよび13.3インチ液晶ディスプレイ搭載モデルで はフルスクリーン表示、12.1インチ液晶ディスプレイ搭載モデルではバーチャルスクリーン 表示(p.33)

320×200ドット、320×240ドット解像度対応のアプリケーションなどは、本機では画面のまわりが黒く表示されます。

ディスプレイの解像度と表示色の変更はコントロールパネルで設定します。

本機の画面の設定を変更する

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「ディスプレイの詳細」タブをクリックする

画面のブロバティ ? ×
背景 スツーンセーバー デザイン ScreenScan Web NeoMagic ディスフルイの詳細
カラー バレット(C) デスカトッフ 領域(D) 小
100 × 600 どうセル
- フォント サイズE)
√はいあ小
通常のサイズ (96 dpi)
ダスクパーに設定インジケーダを表示する(S) 詳細7(Dハ'ティ(A)
OK キャンセル 通用公

3 解像度または表示色を変更する

解像度の変更:

「デスクトップ領域」でつまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、 「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

表示色の変更:

「カラーパレット」で をクリックし、選択一覧から変更します。この選択一覧 には、使用している液晶ディスプレイとディスプレイアダプタが対応している カラーパレットが一覧表示されます。

High Colorとは65,536色のことで、True Colorは1,677万色のことです。

4 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする このあとは、画面の指示に従って操作してください。

バーチャルスクリーンとは、1,024×768ドットの高解像度でディスプレイの画 面上に表示するための仮想画面のことです。バーチャルスクリーンでは、仮 想画面全体のサイズが実際のディスプレイの画面より大きくなるので、ディス プレイには常に仮想画面の一部が表示されている状態となります。画面をス クロールすると、ディスプレイの画面上で見えていない部分を表示することが できます。

バーチャルスクリーンでは、「スタート」ボタンがディスプレイの画面上から外れ、表示されないことがあります。 ディスプレイの画面上の見えていない部分を見るには、マウスポインタを

ディスプレイの画面のへりに移動させます。マウスポインタの移動した方向 に画面がスクロールし、見えなかった部分が表示されます。

1,024 x 768ドット(バーチャルスクリーンモード)の設定方法(12.1イン チ液晶ディスプレイ搭載モデルのみ)

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロー ルパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- **2**「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ」ボタン をクリックする
- 3 「モニター」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
- **4**「デバイスの選択」で、「モデル」から「ラップトップディスプレイパ ネル(1024 × 768)」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「閉じる」ボタンをクリックする
- 6 メッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 さらにメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 8 「画面のプロパティ」に戻ったら、「デスクトップ領域」でスライダを「1024×768ピクセル」にドラッグする

能

9「OK」ボタンをクリックする

この後は、画面の指示に従って操作してください。上記の設定をした後は、「ディスプレイの詳細」タブで、次の解像度を設定できるようになります。

- ・640×480ドット
- ・800×600ドット
- ・1,024×768ドット

バッテリで本機を使う

本機は、ACアダプタを使用せずに、添付のバッテリパックだけで駆動する ことができます。

バッテリの充電

▼チェック! バッテリの充電中は、バッテリパックを本機から取り外さないでください。ショー トや接触不良の原因になります。

バッテリの充電のしかた

本機にバッテリパックを取り付けてACアダプタをACコンヤントに接続すると 自動的にバッテリの充電が始まります。 本機の電源を入れて使用していても充電されます。

| 充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。 また、高温にな ると充電が中断されることがありますので、18~28 での充電をおすすめ します。

参照 / バッテリの充電時間について PART4の「機能一覧 (p.126)

充電状態を表示ランプで確認する

バッテリの充電状態を、表示ランプで確認することができます(p.6)

充電状態	バッテリ充電ランプ 🗔
充電中	オレンジ点灯
充電完了(フル充電)	消灯

バッテリで本機を使うときの注意



- ▼ チェックク・バッテリが充分に充電されているときは、特に必要でないかぎり、バッテリパッ クの取り付けや取り外しをしないでください。故障の原因となります。
 - ・充電を行う際にはできるだけフル充電するようにしてください。バッテリ残量 が少ない場合などに少量の充放雷を何度も繰り返して本機を使用すると、 バッテリ残量に誤差が生じることがあります。
 - ・フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリ残量がなくなり、 電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、フロッピーディスクや ハードディスクのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。

バッテリパックを長持ちさせるには

次のような点に気を付けると、バッテリパックを長持ちさせることができます。

- ・バッテリの残量をできるだけなくしてから充電する
- ・充電はフル充電(バッテリ充電ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・定期的にバッテリリフレッシュを実行する(p.38)
- ・本機を1ヵ月以上使わないときは、バッテリパックを取り外して、涼しいところに保管する

バッテリの上手な使い方

- ・バッテリだけで本機を長時間使用する場合は、本機の省電力機能を使用してください。
- 参照/ 省電力機能について このPARTの「省電力機能(p.43)
 - ・バッテリは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2~ 3カ月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリ駆動中にバッテリ残量が少なくなったときは

バッテリの残量が少なくなると、警告音が3回鳴り、電源ランプが黄色に点灯します。この場合は、次の操作を行ってください。

・ACコンセントから電源を供給する

いったん本機の電源を切り、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコンセントから電源を供給すると、バッテリ充電ランプが点灯し、バッテリの充電が始まります。

・ACコンセントが使えない場合

使用中のソフトウェアを終了して、本機の電源を切ってください。

上記の操作をしないでそのままにしておくと、再度バッテリ残量が少ないというメッセージが表示されます。しばらくすると、自動的にハイバネーション機能 (p.48)が作動し、作業内容がハードディスクに保存され、電源が切れます。

バッテリ残量の確認

バッテリ残量は、次の3つの方法で確認することができます。

・Windowsのタスクバーにある

の上にマウスポインタを合わせる



この画面はモデルによって異なることがあります。 また、アイコンはバッテリの残量により異なります。

・タスクバーの
 ・タスクバーの

バッテリー メータ	-		? ×
- パッテリーの	の状態		
6	現在の電源:	パッテリー	
	パッテリーの総残量:	99%	
	99 1	6	
925	いーにパッテリーの状態を表示	F 2 5	
		t.c.usi	. 1
			v

「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」
 を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックして、表示された
 「電源のプロパティ」ウィンドウを見る

電源のプロパティ	? ×
ハワーマネージメント ディスクト・ライブ	
✓ Windows で1/L'1-9の電源管理をする(m) パッテリーの状態	
現在の電源: パッテリーの総残量:	ハ*ヮテリー 90%
●0 メ	[詳細①
ОК +	ヤンセル 遠用回

ジチェック!! フル充電されている状態では、バッテリ残量表示に多少の誤差が生じる場合があります。

バッテリリフレッシュ

バッテリを完全に使い切らないまま充電を繰り返していると、バッテリの充電 可能容量が目減りしてしまい、バッテリでの駆動時間が短くなる場合があり ます(これをバッテリのメモリ効果といいます)。

また、ご購入直後や長期間ご使用にならなかった場合、バッテリの性能が一時的に低下することがあります。また、バッテリ充電ランプが消えてしばらくしても残量表示が95%以上にならない場合は、残量表示に誤差が生じていると考えられます。

このような場合には、「バッテリリフレッシュ」を実行すると、バッテリパックの機能を回復させることができます。

バッテリリフレッシュの実行

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」 で「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、 本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 バッテリパックをすでに取り付けている場合は、一度バッテリパックを本機から取り外して、再度取り付ける

バッテリパックを取り付けていない場合は、バッテリパックを本機 に取り付ける(p.42)

4 本機の電源を入れ、NECのロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押す
 BIOSセットアップメニューが表示されます。

5 【ESC 】を押す

「終了」メニューが表示されます。

6 「バッテリリフレッシュ」を選び【Enter】を押す 「実行しますか」というメッセージが表示されます。

7「はい」を選び、【Enter】を押す

「Refresh Battery Program Press Y to start Refresh, N to Exit ESC to shutdown system」というメッセージが表示されます。

8 キーボードからYと入力する

次のような画面が表示され、バッテリリフレッシュが始まります。 バッテリリフレッシュが完了してバッテリ内の電力がなくなると、自動的 に本機の電源が切れますので、本機の電源が切れるまでお待ちくだ さい。



▼チェック!・バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。

・バッテリリフレッシュの所要時間のめやすは、本機に添付のバッテリを使用している場合、フル充電状態で約160分、バッテリ残量8%(Windowsでバッテリ 残量少の警告が表示される程度)の充電状態で約20分です。

バッテリリフレッシュを中断するには、電源スイッチを約4秒以上押し続けて ください。

9 バッテリリフレッシュが完了して本機の電源が切れたら、ACアダプタを接続する バッテリの充電が始まりますので、バッテリ充電ランプしてが消えて完全に充電されるまでお待ちください。

バッテリパックの交換

交換の目安

フル充電(バッテリを充電してバッテリ充電ランプが消灯した状態)で使用できる時間が短くなったら、バッテリリフレッシュ(p.38)を行ってください。 それでも使用できる時間が回復しないときは、新しいバッテリパックを購入して交換してください。

本機に取り付けられる交換用バッテリパックは次の2種類です。

- ・PC-VP-WP11(ニッケル水素バッテリパック)
- ・PC-VP-WP10(リチウムイオンバッテリパック)

リチウムイオンバッテリパックを取り付けると、ニッケル水素バッテリパック を取り付けた場合よりも、バッテリ駆動時間が20%程度長くなります。

バッテリパックの交換のしかた





・サスペンド状態のときにバッテリパックを交換すると、作業中のデータが失われます。サスペンド/スタンバイランプが点滅しているときには、一度データを復帰させて保存してからWindowsを終了し、本機の電源を切ってください。

- 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」 で「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」ボタンをクリックし、 本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 4 バッテリパックの横にあるバッテリアンロック を矢印の方向に スライドさせる スライドさせたままの状態で、そのまま次の手順へ進んでください。



バッテリパックが外れます。



6 新しいバッテリパックを矢印の方向にカチッと音がするまでスラ イドさせる



▼チェック! 不要になったバッテリパックは、地方自治体の条例に従って廃棄してください。

省電力機能

本機は、消費電力をおさえて経済的に使用することのできる、省電力機能を搭載しています。

省電力機能の種類

本機は、次のような省電力機能を搭載しています。

・スタンバイモード

液晶ディスプレイのバックライトをオフにするなど、電力消費の多い部 分を節電する機能です。

キーボードやポインティングデバイスを使用するとすぐにもとの状態 に戻るので、作業中に少しだけ席を外す場合などに手軽に利用でき ます。

・サスペンド / レジューム機能

作業中のデータを一時的にメモリ(RAM)に保存し、消費電力をおさ える機能です。

作業内容をメモリ、RAM)に保存することを「サスペンド」、作業内容 を復元することを「レジューム」といいます。作業内容がメモリに保存 されるので、比較的早くもとの状態に戻すことができます。

・ハイバネーション機能

作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。 普通に電源を切るのとは異なり、次に電源を入れると、保存した作業 内容を復元することができます。作業内容の保存中に電力を消費し ないので、長時間作業を中断するときに便利です。

・パワーマネージメント

電力消費状態を自動的に設定する機能です。 バッテリ駆動時などに、電力の無駄な消費をおさえるために使いま す。「使用しない」「最大パフォーマンス」「最大省電力」「カスタマイ ズ」の4種類のモードがあります。

サスペンドとハイバネーションを一括して「スリープ」と呼ぶことがあります。

スリープ状態にするときの注意事項

- 次のようなときは、スリープ状態にしないでください。正しくレジュームできないことがあります。
 - ・プリンタへ出力中
 - ・赤外線通信をしているとき(赤外線通信アプリケーションを実行中)
 - ・通信用アプリケーションを実行中
 - ・電話回線を使って通信中
 - LANに接続中
 - ・音声または動画を再生中
 - ・ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・システムの「プロパティ」ウィンドウを表示中
 - ・Windows 95の起動/終了処理中
 - ・スリープ機能に対応していないアプリケーションを使用中
 - ・スリープ機能に対応していないPCカードを使用中
- ・通信用アプリケーションを使用中の場合は、通信用アプリケーションを終了 させてからスリープ状態にしてください。
- ・スリープ機能を実行してから本機がスリープ状態に入るまでの間は、各種 ディスクやPCカードの入れ替えなどを行わないでください。正しくスリープ できなくなることがあります。
- ・スリープ状態のときに、PCカードを入れ替えるなどの機器構成の変更をすると、正常にレジュームできなくなることがあります。
- ATAカード上のファイルをアプリケーションから開いているときは、スリープ 状態にしないでください。スリープ状態にする場合は、ATAカード上のファ イルを閉じてください。
- CardBus対応PCカードと通常のPCカード(PCMCIA2.1/JEIDA4.2)を 同時に使用しているときに、スリープ/レジュームや、Windowsの起動/ 再起動を行う場合は、いったん、PCカードを抜いておいてください。 Windowsの起動が完了してから、再度カードを挿入してください。
- ・動画再生する際は、BIOSセットアップメニューで「省電力管理」の「省電力」の設定を「カスタマイズ」にし、「自動サスペンドタイムアウト」を「オフ」にしてください。
- 「スタート」ボタン 「設定」「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」にチェックマークがついていると、自動的にスリープ状態にできない場合があります。この場合は「Webページで表示」をクリックして、チェックマークをはずしてください。

スタンバイモード

スタンバイモードにする

キーボードの【Fn】を押しながら【F4】を押す

スタンバイモードのときには、画面の表示が消えます。

もとの状態に戻す

キーボードやポインティングデバイスを使う

サスペンド / レジューム機能

サスペンドできるように設定する

サスペンド/レジューム機能を使うときは、「スタート」ボタン 「設定」 「コン トロールパネル」 「パワーマネージメント」 「電源のプロパティ」 「パワー マネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源管理する」を ▼(オン) にしておいてください。

- ✓ チェック? ・サスペンド中にバッテリの残量がなくなると、自動的にハイバネーション状態になります。ハイバネーション状態への移行中に本機に衝撃や振動を加えると故障やデータ消失の原因となりますので、ご注意ください。また、バッテリのみで使用している場合には、サスペンドする前にバッテリの残量を確認しておいてください。
 - ・ネットワーク(LAN)に接続して通信しているときは、サスペンド機能を使わないでください。本機が正常に動かなくなることがあります。
 - ・「Windowsでコンピュータの電源管理する」を
 「(オフ)にすると、ソフトウェア パワーオフ機能は動作できません。

サスペンドする

Windowsのスタートメニューから「サスペンド」をクリックする

サスペンド状態になると、サスペンド / スタンバイランプ 3 が緑色に点滅します。

その他にも、設定を行えば次のような方法でサスペンド状態にすることができます。

サスペンド状態にする方法	設定方法
自 動	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「ス リープモードを「サスペンド」に設定し、「省電力管 理」「省電力」を「使用しない」以外に設定(p.113,114)
液晶ディスプレイを閉じる	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「ス リープモード」を「サスペンド」に設定し、「省電力管 理」「LCD連動スリープ」を「使用する」に設定(外 部ディスプレイ接続時を除く)
電源スイッチを押す	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「電 源スイッチ」を「スリープ」に設定したあと、「スリープ モード」を「サスペンド」に設定

レジュームする

次のいずれかの方法でレジュームすることができます。

- ・電源スイッチを押す
- ・液晶ディスプレイを開く
- ✓ チェック? ・サスペンド状態にしてからすぐにレジュームするときは、本機に負担がかから ないよう、サスペンド / スタンバイランプが点滅してから5秒以上たってから レジュームしてください。
 - ・サスペンド / スタンバイランプ点滅中に、PCカードの入れ替えや、周辺機器の取り付け / 取り外しなどの機器構成の変更をすると、正常にレジュームできなくなることがあります。
 - ・CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままサスペンドした場合、レジュームに 時間がかかることがあります。

レジュームする方法	設定方法
モデムリングでレジューム	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「モ デムリングによるレジューム」を「オン」に設定
時刻設定によるレジューム	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「レ ジューム時刻」を「オン」に設定

設定を行えば、次のような方法でレジュームすることができます。

ハイバネーション機能

ハイバネーション機能を使えるように設定する

ハイバネーション機能を使うときは、「スタート」ボタン 「設定」 「コントロール パネル」 「パワーマネージメント」 「電源のプロパティ」 「パワーマネージ メント」で、「Windowsでコンピュータの電源管理する」を ▼(オン)にしてお いてください。

- - ・「Windowsでコンピュータの電源管理する」を (オフ)にすると、ソフトウェア パワーオフ機能は動作できません。

ハイバネーションする

キーボードの【Fn】を押しながら電源スイッチを押す

「Save to disk in progress. Please wait・・・」の表示とともに、作業状況を 示す棒グラフが表示されます。

その他にも、設定を行えば次のような方法でハイバネーション状態にすることができます。

ハイバネーション状態にする方法	設定方法
自 動	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「ス リープモード」を「ハイバネーション」に設定し、「省 電力管理」「省電力」を「使用しない」以外に設 定(p.119,120)
Windowsのスタートメニュー から「サスペンド」をクリック	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「ス リープモード」を「ハイバネーション」に設定
液晶ディスプレイを閉じる	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「ス リープモード」を「ハイバネーション」に設定し、「省 電力管理」「LCD連動スリープ」を「使用する」に 設定(外部ディスプレイ接続時を除く)
電源スイッチを押す	BIOSセットアップメニューの「省電力管理」「電 源スイッチ」を「スリープ」に設定したあと、「スリープ モード」を「ハイバネーション」に設定

- ✓ チェック! ・ATAカード上のファイルをアプリケーションから開いているときは、ハイバネーション状態にしないでください。ハイバネーション状態にする場合は、ATAカード上のファイルを閉じてください。
 - ・CardBus対応PCカードと通常のPCカード(PCMC1A2.1/JE1DA4.2)を同時に 使用しているときに、ハイバネーションやWindowsの起動/再起動を行う場合 は、いったん、PCカードを抜いておいてください。Windowsの起動が完了して から、再度カードを挿入してください。

データを元に戻す

電源スイッチを押す

「Resume from disk in progress. Please wait・・・」の表示とともに、作業 状況を示す棒グラフが表示されます。

- ✓ チェック!・ハイバネーション状態にしてからすぐにデータを復元するときは、本機に負担がかからないよう、ハイバネーションになってから5秒以上たってから操作してください。
 - ・ハイバネーション状態のときに、PCカードを入れ替えるなどの機器構成の変 更をすると、データを正常に復元できなくなることがあります。
 - ・CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままハイバネーションすると、データの 復元に時間がかかることがあります。

ハイバネーションの設定を解除する

メモリの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除をしたときは、「ハ イバネーション設定ユーティリティ を使用して設定を解除したあと、「ハイバ ネーション機能を設定する」の手順で、再度ハイバネーションの設定をする必 要があります。設定の解除では、「ハイバネーション設定ユーティリティ」がハー ドディスク内に作成したハイバネーションのためのファイルを削除します。

- ✓ チェック!「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。 Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは、実行できません。必ず、 次の手順で操作してください。
 - 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再 起動する」を選び、「OK」ボタンをクリックする 本機がMS-DOSモードで再起動します。

- 2 MS-DOSモードで再起動したら、CD C: ¥necutilsと入力し、 【Enter】を押す
- **3** HIBEROFFと入力し、【Enter】を押す
- 4 次のようなメッセージが表示されたら、何かキーを押す



本機が自動的に再起動します。 これでハイバネーションのためのファイルが削除されました。

ハイバネーション機能を設定する

ハイバネーションのためのファイルを削除した場合や、「ハイバネーションの設定を解除する」の手順で設定を解除したあとに再度ハイバネーションの設定をする場合は、次の手順で設定してください。メモリの取り付け/取り外し、 Windows 98のCドライブにドライブコンバータ(FAT32)を実行した場合、C ドライブの圧縮/圧縮解除を行った場合は、まず、前述の「ハイバネーション の設定を解除する」の操作を行ってから、次の手順1~3の設定をしてください。



- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再 起動する」を選び、「OK」ボタンをクリックする 本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 2 MS-DOSモードで再起動したら、CD C: ¥necut i Isと入力し、【Enter】 を押す
- 3 HIBERONと入力し、【Enter】を押す しばらくの間、ハイバネーション用ファイルの作成画面が表示されることがあります(お使いの機器のメモリ容量によって異なります)。

チェック!! ハードディスクの空き領域が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き領域を確保した後、手順1からやり直してください。必要なハードディスクの空き領域の目安は、本機に搭載されているメモリ容量+6Mバイトです。

4 次のようなメッセージが表示されたら、何かキーを押す



本機が自動的に再起動します。

パワーマネージメント

モードの種類と切り替え方

パワーマネージメントには、次の各モードがあります。

キーボードの【Fn】を押しながら【F7】を押すごとにモードが切り替わり、ビー プ音が鳴ります。

モード	機能	ビープ音の回数
使用しない	パワーマネージメントなし。	1回
カスタマイズ	節電する機能を自分で選ぶことができるモー ドです。どの機能を使うかは、BIOSセットアッ プメニューで設定します(p.119)。	2回
最大パフォーマンス	節電をしながら高性能で使いたいときに選び ます。節電効果はやや低めです。	3回
最大省電力	性能を控えることにより節電効果を高めたいと きに選びます。	4回

:ご購入時の設定(バッテリ駆動時のみ有効)

● チェック !! ・ 「Fn 」を押しながら [F6]を押してシステムスピーカーを「オフ」にしていると、 モード識別の音が鳴りません。音量を「オン」にしてください。

> ・パワーマネージメントは、バッテリ駆動時に有効になります。ACコンセントから 電源を供給しているときにパワーマネージメントを使いたい場合は、BIOSセッ トアップメニューの「省電力管理」の「AC電源時の省電力」を「使用する」に設 定してください(p.119)。

セキュリティ機能

本機には、本機の不正使用やデータなどの盗難を予防するため、次のようなセキュリティ機能が搭載されています。

チェック!! セキュリティ機能を使用している場合でも、「絶対に安全」ということはありません。重要なデータなどの管理、取り扱いには十分注意してください。

本機のセキュリティ機能

本機のセキュリティ機能には、次のようなものがあります。セキュリティ機能は、 BIOSセットアップメニューの「セキュリティ」で設定します(p.117)

パスワードを設定する

スーパバイザパスワード / ユーザパスワードを設定することで、本機の使用 者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することが出来ます。BIOS セットアップメニューでそれぞれのパスワードを設定し、「セキュリティセット アップ」の「起動時のパスワード」を「はい」に設定してください。

- - 参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテ ナンス&サポートのご案内』

パスワードの解除処置を依頼されるときは、次のことをご確認ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となり ます。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお 受けいたします。

- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意くだ さい。
 - 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 - 2. 身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)
 - 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の 用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の 記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかね る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

セキュリティ機能の使用例

セキュリティ機能は、本機の使用状況に合わせて次のように利用できます。

日常的な使用者以外が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用している人とは別の人が本機の設定をしたい場合、は じめに管理者がユーザ権限とスーパバイザ権限の両方を設定しておき、ユー ザ権限のみを各利用者に通知します。この機能を使うと、管理者以外は BIOSセットアップメニューのセキュリティに関する設定を変更することがで きなくなります。

使用者が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用する人がBIOSセットアップメニューのセキュリティに関 する設定も自由に行いたい場合、使用者がスーパバイザ権限を設定します。 この機能を使うと、使用者以外には本機の起動やBIOSセットアップメニュー の設定変更ができなくなります。

パスワードを設定しているときの電源の入れ方

BIOSセットアップメニューの「セキュリティ」の「起動時のパスワード」が「使用する」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

1 本機の電源を入れるとパスワードを入力する画面が表示される



2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

3 [Enter]を押す

正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。

 チェック? 誤ったパスワードが入力されると、警告が表示されます。パスワードの入力に3 回失敗すると、パスワードが入力できなくなります。このときは、電源スイッチを 押して電源を切ったあと、再度手順1からやり直してください。

赤外線通信機能

赤外線通信とは、パソコンとパソコンの間をケーブルで接続せずに赤外線 でデータの交換を行う通信方法です。

赤外線通信

本機では、IrDA SIR Data Link Std.に準拠した赤外線通信ができます。 赤外線通信をするには、「Intellisync」を使います。

Intellisyncを使うには、「アプリケーションCD-ROM」を使って、本機の ハードディスクにIntellisyncを追加する必要があります。

参照/ Intellisyncの使い方 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1の「Intellisync」

赤外線通信機能を使えるようにする

- 1 BIOSセットアップメニューを起動する(p.111)
- 2 「詳細」「詳細機器設定」の「赤外線ポート」を選ぶ
- 3「自動」、または「使用する」にする
 - 「使用する」を選んだ場合は、続けて「モード」「I/Oベースアドレス」 「DMAチャネル」を設定してください。
- 4 BIOSセットアップメニューを終了し、本機を一度再起動する
- 5 「デバイスドライバウィザード」の画面が表示されたら「次へ」ボタ ンをクリックする
- 6 「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
- 7 「赤外線デバイスウィザード」の画面が表示されたら「キャンセル」 ボタンをクリックする
- 8 「Intellisync」を起動し、「Intellisyncエージェント」で設定を行う

▼ チェック! 異なる機器との通信には、両装置間の通信に対応したソフトウェアが必要です。

こんなときはうまく通信できないことがあります

・異なる機器と接続した場合(相手の機器の性能に依存するため)

・通信相手機器がIrDA規格に準拠していない場合

機器の配置について

赤外線通信を行う機器は次の範囲内に配置してください。



- ・互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにする
- ・互いの機器の赤外線通信ポートの距離を約1m以内にする

機器を配置するときの注意

- ・赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしない
- ・通信相手機器と本機との間に赤外光を遮るような物を置かない
- ・互いの機器どうしを接触させない
- ◆ チェック! 通信相手の赤外線が本機の赤外線通信ポートまで届かないときや通信相手機 器の通信可能距離が本機より短い(本機の場合は約1m以内ときは、通信相手 の機器が本機の通信可能範囲にあっても通信できないことがあります。このようなときは、お互いの赤外線通信ポートを真正面で向き合わせて、できる限り近 くに置いてください。このとき、お互いの装置が接触しないようにしてください。

こんなときは通信可能距離が短くなってしまうことがあります

- ・直射日光や蛍光灯の直下
- ・機器どうしが正しく向き合っていない
- ・他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くにある
- ・本機の赤外線通信ポートの指向性(約15度程度)の範囲を越えているとき

サウンド機能

ボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音時の入力レベルを調節することができます。

ボリュームコントロールを使って調節する

ボリュームコントロールを表示させる

「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「マルチメ ディア」「ボリュームコントロール」をクリックする ボリュームコントロールの画面が表示されます。



つまみを上下すると、音量調節ができる

▼チェック! ディスプレイの解像度を低解像度に設定しているときにボリュームコントロール を表示させると、ボリュームコントロールのすべての音源コントロールが表示さ れない場合や右端の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があります。こ のようなときには、ディスプレイの解像度を変更する(p.32 か、または「プロ パティ」ウィンドウの「表示するコントロール」欄で、使用しない音源の選択を解 除し、必要な音源コントロールが表示されるように変更してください。 なお、ディスプレイの解像度を変更する場合は、ボリュームコントロールを一旦 終了し、解像度を変更後に再度ボリュームコントロールを起動してください。

表示項目を切り替える

ボリュームコントロールに表示させる項目を切り替えることができます。

 メニューバーの「オプション」「プロパティ」をクリックする 「プロパティ」ウィンドウが開きます。 **2**「再生」録音」その他」のどれかを選択する 表示項目が切り替わります。

プロノペティ			? ×
ミキサー デッパイス(<u>M</u>):	Maestro Mixer		
音量の調整			
6 舟王			
0 2018	MonoOut		~
表示するコントロール			
Volume Contro	ol		<u> </u>
Wave Supth			
			V
		ОК	+e)tu

設定項目一覧

表示できる項目と各項目の説明は次のようになります。

項目名	音量 の種	調整 類	機能	
	再生	録音		
Volume Control			スピーカから出力されるすべての音量を調整します。	
Wave			WAVEデータなどのPCM音源の音量を調整します。	
Synth			シンセサイザーの音量を調整します。	
Line			オーディオ入力端子に接続した機器から入力され る音をスピーカから出力するとき、または録音する ときの音量を調整します。	
C D			CDオーディオを再生または録音する音量を調整 します。	
Aux			本機では使用できません。	
Video			本機では使用できません。	
Mic			マイクロホン端子から入力される音をスピーカから出 力するとき、または録音するときの音量を調整します。	
Monoln			Voiceモデムの音量を調整します。	
IIS			ZVポートなどからの音量を調整します。	
PC Speaker			ビープ音の音量を調整します。	
Mixer			スピーカから出力されるすべての音を録音すると きの音量を調整します。	

音量の調整で、その他 を選択すると、横にあるプルダウンメニューから次の ような項目を選択できるようになります。

ን በ ለ ን ት			? ×
ミキサー デッパイス(<u>M</u>):	Maestro Mixer		•
- 音量の調整──			
○ 再生			
 ○ 録音 			
◎ その他	MonoOut		•
	MonoOut		
表示するコントロール:	Effects Controls Reverb Controls		•
🗌 Mono Mixer			
🗆 Mic			
•]	Þ
		OK	キャンセル

項目		機能	
MonoOut	通常は使用しません。		
Effects Controls	Reverb Level	リバーブ効果を調整します。	
	Chorus Level	コーラス効果を調整します。	
	3DSpreader	音の広がりを調整します。	
	Treble Level	高音部を調整します。	
	Bass Level	低音部を調整します。	
Reverb Controls	Depth	リバーブ効果をさらに詳細に調整します。	
	Delay		
Chorus Controls	Feedback	コーラス効果をさらに詳細に調整します。	
	Frequency		
	Depth		
Surround	通常は使用しません。		
Voice Commands	通常は使用しません。		

トーン調整で調整する

- 1 ボリュームコントロール画面に「Mic」項目が表示されていること を確認し、メニューバーの「オプション」「トーン調整」をクリック する ボリュームコントロール画面の「Mic」項目に「トーン」ボタンが追加表示 されます。
- 2 「トーン」ボタンをクリックする トーン調整画面が表示されます。
- ▼チェック!・本機では、そのほかの調整」のみ調整可能です。
 - ・本機には、ハードウェアに高音、低音の調整機能がないため「トーン調整」の高 音、低音の調整はできません。

内蔵モデム (FAXモデム内蔵モデルのみ)

内蔵のモデムを介して電話回線に接続すると、インターネットや電子メール などのやり取りができます。

電話回線との接続

接続可能な電話回線のコンセントについて

本機に接続可能な電話回線は2線式のみです。電話回線に接続する前に、 使用する電話回線の種類を確認してください。

・モジュラージャック式

本機に付属のモジュラーケーブルで接続できます。

・3ピンプラグ式コンセント

市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。

直結配線方式

モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにモジュ ラージャックの取り付けをご相談ください。

◆チェック? 内蔵のFAXモデムは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入 電話回線以外と接続すると、うまく動作しないことや、内蔵FAXモデムやパソコ ン本体などを破損するおそれがあります。

▲警告

∧注意

電話回線を接続する



雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがありま す。



モジュラージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続してい るモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上 に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」 で本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 電話機のモジュラーケーブルをモジュラーコンセントなどから取 り外す
- **4** 付属のモジュラーケーブルの一方を本機のモジュラーコネクタ に接続する



5 モジュラーケーブルのもう一方をモジュラープレートなどに接続 する


分岐アダプタを使う

電話回線のモジュラージャックが1つの場合、本機で通信している間は、電 話機のモジュラーケーブルの接続を取り外す必要があります。電話機のモ ジュラーケーブルを取り外したくないときは、市販の分岐アダプタをご購入く ださい。

- ▼チェック?・本機と電話機が同時に電話回線を使うことは出来ません。
 - ・本機で通信中は、電話機の受話器を外さないでください。通信が妨害され、通 信が切断されることがあります。
 - ・分岐アダプタの2つのモジュラージャックは同じ物です。電話機と本機の どちらも接続することができます。
 - ・本機に付属のモジュラーケーブルの長さが足りないときには、十分な長 さの市販のモジュラーケーブルを別途ご購入ください。



ダイヤル設定のしかた

- **ジチェック**? FAXモデムが内蔵されていない場合、モデムを接続して設定を行う必要があり ます。
 - 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
 - **2**「モデムのプロパティ」ウィンドウ下段の「ダイヤルのプロパティ」 ボタンをクリックする

「所在地情報」ウィンドウが表示された場合

0を除いた市外局番を入力し、「0K」ボタンをクリックします。再度「ダ イヤルのプロパティ」ボタンをクリックすると、「ダイヤルのプロパティ」 ウィンドウが表示されます。

必要な項目を確認して、設定してください。

所在地情報			×
	現在の所在地情報 国番号(W) 日本(81) 市外局番(Q) 「 外線発信番号(Q) ダイヤル方法: でトーン(T)	地設定してください。 「C バルス(2)	×
		ОК	中心也是

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示された場合

タイヤルの7 ロハディ ? X 所在地情報	
所在地 登録名(2) 歴報 「 新規(2)」 - - - - - - - - - - - - -	ーーー 使用する場所の0を除いた市外 局番を入力する
ダゾヤル方法 外線発信書号(Q): 市内 長距鏡 「遠話か-ト*さ使用する(Q): 天売(ch).	内線電話から外線へ接続する 場合には必ず入力する
▽ キャッチネノ爆旋を新潟するための番号190 ダイヤル方法: ○ トン(①) ○ ハ'ルス(D) OK キャンセル	プッシュ回線を使用するときは 「トーン」ダイヤル回線のときは 「パルス」に設定してください。回 線の種類が不明の場合は、 NTTにお問い合わせください。

通信機能使用上の注意

- ・内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
- ・加入電話回線がトーン式かパルス式かわからないときは、NTTに確認して ください。
- ・回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ることがあ ります。
- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。

- ・コードレスホンや親子電話などの加入電話回線以外の回線をご使用の場 合は、正常なデータの送受信ができなくなる場合があります。
- ・回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できない場合があります。
- ・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでのファクシミリ通信ができないことがあります。この場合には、通信速度を9600bpsにしてください。
- ・データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。それ 以外に設定すると、データ抜けが生じる可能性があります。
- ・通常の電話回線を使用する場合、送信レベルはご購入時の設定から変更 する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合に は、送信レベルの調整が必要なことがあります。送信レベルの調整は、工 事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定の サービス窓口にお問い合わせください。
- ・ハイパーターミナルなどを使って通信する場合、ATコマンドが必要です。詳 しくは、下記のREADMEファイルをご覧ください。

C: ¥WINDOWS¥ATCREAD.DOC

ネットワーク通信機能 (LAN内蔵モデルのみ)

LAN回線を接続することで、100BASE-TXまたは10BASE-Tネットワークシ ステムに接続することができます。

初めて100BASE-TXネットワークを設置される方へ

100BASE-TXネットワークを設置するためには、配線工事などの技術が必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、弊社製品を使用してください。

他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

100BASE-TXネットワークの端末を増設される方へ

すでに100BASE-TXネットワークを設置されている方は、次の機器を用意してください。

・100BASE-TX用HUB(8ポート)(PC-9868-41)

・リンクケーブルH(PC-9868-28/29) 5/10m)

10BASE-Tネットワークの端末として使用される方へ

既存の10BASE-Tネットワークに接続することで、10BASE-Tネットワークの端 末として本機を使用することができます。

100BASE-TXの概要

100BASE-TXは、従来のEthernet(10BASE-T)の環境で転送速度 100Mbpsを実現したネットワークです。従来のネットワーク構成を変更せず に既存のHUBを変更するだけで、高速化がはかれます。

100BASE-TXのアクセス制御方式には、10BASE-Tと同様のCSMA/CD (Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection: 搬送波感知多重アクセス/衝突検出 を採用し、IEEEC 米国電気電子技術 者協会)802.3で標準化が進められました。

また、伝送媒体には、カテゴリ5のUTPリンクケーブルを使用することで、高速、高品質のデータ転送を実現しています。

構成例



サーバのビッグパイプ化(100Mbps)の例

リンクケーブルについて

ネットワークへの接続には、リンクケーブルが必要です。

本機に内蔵されているLAN インターフェイスは、100Mbps で動作する 100BASE-TX基準を満たしています。

100BASE-TX(100Mbps)で使用するときには、必ずカテゴリ5(CAT5)のケーブルを使用してください。

10BASE-T(10Mbps)で使用するときには、カテゴリ3、4、5のケーブルを使用してください。



使用可能なUTPケーブル

特性	仕様
ケーブルタイプ	非シールドより対線
コネクタ	RJ-45コネクタ2個
ケーブル最低品質	Electronics Industries Association/Telecommuni- cation Industries Association(EIA/TIA)-568のカテ ゴリ5またはそれと同等レベル(100Mbps使用時)

コネクタ形状



端子番号	信号名	ピンコネクション
1	TD+	
2	TD-	
3	R D +	
4	-	
5	-	
6	RD-	
7	-	
8	-	

ネットワークへの接続

 リンクケーブルの一端を、本機のLAN用モジュラーコネクタに、 奥までしっかり差し込みます。



2 リンクケーブルのもう一方を、ネットワーク(100BASE-TXハブなど)に接続します。

ネットワーク側の接続や設定については、接続した機器のマニュアル をご覧ください。

ユニバーサル管理アドレス

ユニバーサル管理アドレスは、IEEEで管理されているアドレスで、主にマル チベンダネットワーク構築や他のネットワークに接続するときなどに使用しま す。

ユニバーサル管理アドレスは、winipcfg.exeコマンドを実行して確認することができます(ただしTCP/IPプロトコルが必要です)。

運用上の注意

- ・システム運用中は、ハブからリンクケーブルを外さないでください。ネット ワークが切断されます。ネットワーク接続中にリンクケーブルが外れたとき は、すぐに接続作業をすることで復旧し、使用できる場合もありますが、使 用できない場合は、本機を再起動してネットワークの接続をやり直してくだ さい。
- ・LAN回線を接続してネットワーク通信をするときには、本機にACアダプタ を接続して使用するようにしてください。バッテリパックのみで使用すると、 使用時間が短くなります。
- ・ネットワーク(LAN)に接続しているときは、サスペンド状態やハイバネーション状態にしないでください。本機が正常に動かなくなることがあります。

100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または当 社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

VersaPro NXマネジメント機能

(LAN内蔵モデルのみ)

本機は、システム管理者が効率よく本機をマネジメントするための運用管理、セキュリティ、資源管理および遠隔操作・保守を行うための機能があります。

マネジメント機能

システム管理者が効率よくパソコンをマネジメントするために、次のような手段・機能を利用することが効率的であるといわれています。

- ・一般のユーザが、Windowsのシステムに影響のあるファイルを変更・削除 したり、アプリケーションソフトをインストールできないようにする。
- ・機密データの漏洩、改ざん防止、コンピュータウィルスの侵入を防ぐため、 外部からデータを取り込むフロッピーディスクドライブを使用できないよう にする(ロックする)。
- ・ソフトウェアのバージョンアップのために、必要なパソコンのハードウェア構成情報 成情報(メモリ容量、ハードディスクの空き容量など)、ソフトウェア構成情報 を管理する。
- ・ハードウェアに異常が発生したことを一般ユーザやシステム管理者に通知 する。
- ・システム管理者のパソコンから管理するパソコンの電源、システムを遠隔 操作できる。

本機には、このような手段・機能を利用するために、次のような機能を備えて います。

運用管理機能

クライアントモニタリング

「DMITOOL」により離れたところにあるマシンから本機の状態を知ることができます。

参照 / 『活用ガイド ソフトウェア編』PART1の「DMITOOL」

資源管理

本機のメモリ容量、ハードディスク容量などのハードウェア構成およ びインストールされているソフトウェアについての情報を知ることがで きます。また、離れたところにあるマシンから、本機の情報を知ること ができます。

状態監視

障害管理機能が異常値を検出すると、本機の状態監視アイコンや ポップアップメニューにより異常を通知し、バックアップツールの連携 操作などができます。また、離れたところにあるマシンから、本機の状 態を知ることができます。

リモートコントロール

参照/『活用ガイド ソフトウェア編』PART1の「pcANYWHERE32 EX」

離れたところにあるシステム管理者のマシンから本機を操作して、次の操作 を行うことができます。

- ・本機のデータやシステムファイルなどのバックアップ
- ・ファイル転送
- ・アプリケーションのインストール
- アプリケーションの実行などの操作(アプリケーションによってはできないものがあります)
- ジチェック!! この操作を行うには、システム管理者のマシンに次のソフトウェア(別売)のい ずれかが必要です。
 - ・「DMITOOL (Ver6.1) pcANYWHERE32 EXコンプリート版付)
 - ・「DMITOOL (Ver7.1) pcANYWHERE32 EXコンプリート版付)
 - ・「pcANYWHERE (Symantec社製)

「DMITOOL」、「pcANYWHERE32 EX」に関しての最新情報は、イン ターネットのホームページ^T98Information」の「ソフトウェア」で提供してい ます。

http://www.nec.co.jp/98/

ネットワークブート

管理者パソコンと接続し、つぎの操作を行うことができます。

- チェック! この機能を使用するには、別途同一LAN上の管理者パソコンで、別売の ESMPRO/ClientManager Ver3.0のRemote Install Managerが設定されてい る必要があります。
 - ・OSのセットアップ
 - ・BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え)
 - BIOS設定変更

上記の作業を行う際に、ネットワークからの起動が必要になった場合は、本機起動時に「NEC」ロゴが表示されているときに【F12】を押すとネットワークプートが可能になります。

▼チェック! お使いの機種によってはこの機能を利用できない場合があります。



周辺機器を使う

別売の周辺機器の接続方法や注意事項などを説明しています。

このPARTの内容

接続できる周辺機器 周辺機器を利用する プリンタを使う 外部ディスプレイを使う PCカードを使う メモリ(RAM)の増設 ポートバーを使う その他の機器を使う



接続できる周辺機器

本機には、次のような別売の周辺機器を接続できます。









プリンタや外部ディスプレイなど、本機に接続して使用する機器全般を、周辺機器といいます。本機には、さまざまな周辺機器を接続するためのコネクタやポートが用意されています(p.76、77、78)。



周辺機器や外部のコンピュータと本機との間で信号(データ)をやり取りする ための「窓口」となるのがポートです。やり取りする信号(データ)を船荷に例 え、それらを積み降ろしする港(ポート)に例えてこの名前が付いています。 Windows 95のCOM1ポートは本機のシリアルコネクタ(ポート)に、LPT1は パラレルコネクタ(ポート)にあたります。

周辺機器を利用するための知識

⚠警告



雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがありま す。

⚠注意



周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、本機の電源を切ったあと、 本機と周辺機器の電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセン トに接続されたまま、周辺機器の取り付け/取り外しをすると、感電の原因 となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

周辺機器の取り付け/取り外し時の注意

・別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合がありますので、周辺機器の説明書などをよくお読みになり使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元/ 発売元などに上記の事項を確認してください。

- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行ってくだ さい。
- ・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する 前に確認のうえご用意ください。
- ・周辺機器を増設すると、他の機器とリソースが競合してどちらかが使えな くなることがあります。この場合は、以下の手順でリソースが競合しないよ うに変更してください。
 - 1 起動しているアプリケーションをすべて終了する
 - **2**「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロー ルパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
 - **3**「デバイスマネージャ」タブをクリックする 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
 - **4**「!」や「×」が表示されていて動作しない周辺機器を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする
 - 5 「プロパティ」画面で「リソース」タブをクリックし、「自動設定を使う」を (オフ)にする
 - 6 競合しているリソースを「リソースの種類」一覧の中から選択し、 ダブルクリックする 「競合するデバイス」欄に、競合しているデバイスと、競合しているリ ソースの種類が表示されます。
 - 7 競合しないリソースの値を設定し、「OK」ボタンをクリックする 「競合の情報」欄に競合しているデバイスと競合しているリソースが表示されます。

他の周辺機器がそのリソースを使用している場合や、「この設定のリソース は変更できません」と表示された場合は、その値への変更はできません。 選択した周辺機器によっては「ポート番号」と「1/0の範囲」など複数の変 更が必要になることがあります。

- 8 リソースが競合していないことを確認し、「プロパティ」画面で 「OK」ボタンをクリックする
- 9 「変更不可の環境設定の作成」のダイアログが表示されるので、 「はい」ボタンをクリックする もとの画面に戻るまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのま まお待ちください。
- 10「0K」ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」を閉じる
- **11**「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする 「Windowsの終了」画面が表示されます。
- 12「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

周辺機器のドライバについて

周辺機器を使うには、本機と周辺機器の仲介をする「デバイスドライバ」と呼ばれる周辺機器専用のソフトウェアを、本機にセットアップする(組み込む)必要があります。

このセットアップには、次の2つの場合があります。

・「 プラグ& プレイ機能」対応の周辺機器の場合

機器を本機に接続してWindowsを起動すると自動的にドライバの 設定が行われ、機器が使用可能な状態になります。

・「 プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合

機器を本機に接続したあと、ドライバの設定が必要な場合があります。設定の詳細は、本機やドライバに添付のREADMEファイルや周辺機器のマニュアルをご覧ください。

READMEファイルは、「メモ帳」などのテキスト形式のファイルが開けるア プリケーションで簡単に見ることができます。

✓ チェック! ドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できないばかりか、 本機の動作が不正になることがあります。その場合は、周辺機器のマニュアル に従って、再度ドライバを正しく組み込んでください。 プラグ&プレイ(PnP)セットアップについて

本機にインストールされているWindows 95には、プラグ&プレイ機能用に多 くの周辺機器のドライバがあらかじめ添付されています。接続しようとする周 辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しており、かつ添付されたドライバの中に 該当するものがあれば、周辺機器の検出と設定が自動的に行われます。

電源を入れる / 切るときの順序

本機に周辺機器を接続しているときには、次の順序で電源を入れたり、切ったりしてください。

電源を入れるとき

周辺機器の電源を入れる本機の電源を入れる

電源を切るとき

本機の電源を切る 周辺機器の電源を切る

また、プリンタを接続しているときは、次の順序で行ってください。

電源を入れるとき



ただし、プラグ&プレイ機能を利用してプリンタドライバをセットアップする場合は、プリンタの電源を入れた状態でWindowsを起動してください。



プリンタを使う

プリンタを使用するには、そのプリンタ機種に対応した専用のドライバが必要です。ドライバは通常フロッピーディスクなどの形でプリンタに添付されています。また、本機にも代表的なプリンタのドライバが数多く添付されています。

プリンタを接続する

本機とプリンタとを接続するには、25ピンパラレルインターフェイスに対応した プリンタケーブルが必要です。

プリンタによっては、本機のUSBコネクタに接続できる機種もあります。その場合は、本機の電源が入っている状態でも接続ができます。

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン「Windowsの終了」 で本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 本機のパラレルコネクタにプリンタケーブルの小さいほうのコネ クタを向き(上下)に注意して差し込む



- 4 プリンタケーブルの大きい方のコネクタをプリンタのコネクタに 差し込む 接続についてはプリンタのマニュアルもご覧ください。
- 5 プリンタの電源ケーブルと本機の電源コードをACコンセントに 接続する

プリンタを設定する

プリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、Windowsの「プリンタ」 ウィンドウで行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で使うプリンタの機 種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要があります。

プラグ&プレイ機能対応のプリンタを設定する

プラグ&プレイ機能(p.82)に対応したプリンタを設定する場合、プリンタを 本機に接続したあとプリンタ 本機の順に電源を入れると、自動的にプリン タドライバの組み込みが行われます。

プラグ&プレイ機能を利用しないでセットアップを行う場合

- プリンタが正しく接続され、プリンタの電源がONになっていることを確認する
- 2「スタート」ボタン「設定」「プリンタ」をクリックする 「プリンタ」ウィンドウが表示されます。 すでに設定済みのプリンタがある場合は、その機種のアイコンが表示 されています。
- **3**「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックする 「プリンタウィザード」ウィンドウが開きます。



4 「プリンタウィザード」ウィンドウの「次へ」ボタンをクリックする 「使用するプリンタの製造元」と「使用するプリンタの機種、または互換 性のある機種)」のリストが表示されます。 5 「プリンタはどこに接続されていますか?」というメッセージが表示 された場合は、「ローカルプリンタ」をクリックして「次へ」ボタンを クリックする

「製造元」と「プリンタ」のリストが表示されます。

6 表示されたリストの中から、使用するプリンタの製造元とプリンタ 機種(または互換性のある機種)を選択する

フリンクウィザード フリンカの製造元と は、「ティング使用」 して互換性のある	モデルを選んでください。フリンタニシストールディンが作用。マロ・5場合 を使ってくたさい。フリングが一切しては、場合は、フリングのてニュアルを参照 ンフリンタを選んでくたさい。
影響力(M) NEC PostScript PSPrint95 OMS RICOH SANYO	7929(2). NEG MAINWARE IDODEW NPD12 NEG MAINWARE 2000FW NPD12 NEG MAINWARE 2000FW NPD12 NEG MA-5100 NEG NM-5102/5020L
	< 戻る(B) 次へ> キャンセル

プリンタにインストールディスケ(ドライバディスク)が添付されている場 合は、「ディスク使用」ボタンをクリックして、インストールディスクのデー タをインストールします。

7「次へ」ボタンをクリックすると、プリンタを使用できるポートのリ ストが表示されるので、LPT1を選ぶ



8 「次へ」ボタンをクリックし、表示された画面の「プリンタ名」欄に 使用するプリンタの名前を付ける この欄には手順6で選択したプリンタの機種名がプリンタ名として表 示されるので、特に名前を付け直す必要がなければ、そのままにして おきます。 このプリンタを通常使用するプリンタとして登録する場合は、下欄の「はい」をクリックしてください。

9 「次へ」ボタンをクリックする

テスト印刷を行うかどうかを選択する画面が表示されます。 「はい(推奨)を選択すると、テストページの印刷によってプレンタの接 続や設定が正常に行われたかどうか確認することができます。この場 合は、あらかじめプリンタのマニュアルに従って用紙などをセットして おいてください。



10 設定が終了したら「完了」ボタンをクリックする もし、今までの設定を変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして 前の設定画面に戻り、設定をやり直します。

手順7でプリンタドライバをインストールしなかった場合やインストール が必要な場合は、ここで「ディスクの挿入」画面が表示されますので、 プリンタのマニュアルをご覧になり、指定されたディスクをセットしてく ださい。設定がすべて終了すると、設定したプリンタのアイコンが「プ リンタ」ウィンドウに表示されます。

✓チェック! NEC製プリンタのMultiWriterシリーズ、MultiImpactシリーズでPrintAgentをお 使いの場合は、PrintAgentがサスペンド機能に対応していないため、下記の手 順に従ってサスペンド機能が動作しないように設定してください。

1 本機の電源を入れる(または再起動する)

2 NECのロゴが表示されている間に、【F2】を押す BIOSセットアップメニューの画面が表示されます。(p.110,111)

- **3** 【 】 】 で「 省電力管理(Power)」を選択する
- 4 【 】 で「省電力(Power Savings)」を選択し、[Enter]を押す
- 5 【 I Jで「使用しない(Disabled)」を選択し、【Enter】を押す
- **6**【F10】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 7 「はい」が選ばれていることを確認して、【Enter】を押す 設定値がCMOSに保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

ネットワーク上の共有プリンタを使うには

ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。 プリンタのパス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者 にお問い合わせください。

- 1 「プリンタを設定する(p.84)」の手順1~4を行う
- **2**「ネットワークプリンタ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする 次のような画面が表示されます。



- 3 ネットワークパス名を入力する 「参照」ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタ が表示されるので、そこから選ぶこともできます。
- **4** 「次へ」ボタンをクリックし、あとは画面の指示に従ってプリンタの 設定を行う



外部ディスプレイを使う

本機にCRTディスプレイやプロジェクタを接続することができます。CRT ディスプレイの大画面で作業したり、プロジェクタを使ったプレゼンテー ションなどが可能になります。

CRTディスプレイを接続する

CRTディスプレイ接続時の解像度と表示色

別売のCRTディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

表示解像度	水平走査	垂直走查		表表	示色	
(ドット)	(ドット) 周波数(KHz)	周波数(Hz) 16色	256色	65,536色	1,677万色	
640 × 480	31.5	60				
	37.5	75	×			
	43.3	85	×			
800 × 600	37.9	60	×			
	46.9	75	×			
	53.7	85	×			
1,024×768	48.4	60	×			×
	56.5	70	×			×
	60.0	75	×			×

:表示可能

x:表示不可能

 ◆チェック? お使いになるCRTディスプレイによっては、上の表に記載されている走査周波 数や解像度と異なる場合があります。CRTディスプレイをご使用の際は、CRT ディスプレイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確認してく ださい。

- 1 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン「Windowsの終了」 で本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 ディスプレイ用ケーブルを本機のCRT用コネクタに差し込み、ネジを回して固定する



- 4 CRTディスプレイの電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに差し込む 詳しくはCRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- **5** CRTディスプレイの電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続する CRTディスプレイを接続した場合、本機はACアダプタでお使いくださ

CRTティスノレイを接続した場合、本機はACアダノダでお使いくたさい。

プロジェクタを接続する

液晶プロジェクタと解像度について

別売の液晶プロジェクタを使用する場合は、接続する前に次の表を参考に して表示解像度などを確認してください。

主一如俟点	走查周波数		プロジェクタモデル		
表示解像度 (ドット)	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	ViewLight X1020	ViewLight S820/MB800	ViewLight V620
640 × 480	31.5	60.0			
	37.5	75.0			
800 × 600	37.9	60.3			
	46.9	75.0			
1,024×768	48.4	60.0			
	60.0	75.0			

:表示可能

詳しくは、プロジェクタのマニュアルをご覧ください。

外部ディスプレイの設定

表示ディスプレイの切り替え

キーボードの【Fn】を押しながら【F3】を押すと、キー操作で簡単に画面の出力先の切り替えを行うことができます。

参照 ホットキー機能について PART1の「キーボード(p.9)

▼チェック! 外部ディスプレイ接続時は、液晶ディスプレイを閉めてもスリープできません。

ディスプレイに合わせて本機を設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロー ルパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が開きます。
- **2**「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ」ボタン をクリックする
- 3 「モニター」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
- 4 「すべてのデバイスを表示」がある場合はクリックする
- 5 表示した「デバイスの選択」ウィンドウで「製造元」と「モデル」を 選択する ディスプレイー覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場 合は、「製造元」で「(スタンダードモニター)」、「モデル」では接続した ディスプレイに対応した解像度を選んでください。
- **6**「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 再び「OK」ボタンをクリックする
- **8** 画面のメッセージに従って、Windowsを再起動する これでディスプレイの設定が完了しました。



本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカード を使うことで、本機の機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を接続するこ とができます。

РСл-К

PCカードとは、社団法人日本電子工業振興協会(JEIDA)とPCMCIAとの 間で共同で標準化を進めているカードの名称のことです。PCカードにはさま ざまな種類があり、用途も幅広く使われています。メモリカードやモデムカー ド、SCSIインターフェイス対応機器をつなげるためのSCSIカードなどがあり、 ハードディスクとして使われるカードもあります。

PCカードスロットについて

- ・TYPE IかTYPE IIのPCカードを上下のスロットに1枚ずつ2枚まで、また は上下のスロットを合わせて1枚のTYPE IIIのPCカードを使用できます。
- ・ZVポート対応のPCカードは、ソケット1(スロット0)のみで使用できます。 CardBus対応のPCカードは、ソケット1(スロット0)またはソケット2(スロット 1)の両方で同時に使うことができます。



PCカード使用時の注意

- ・PCカードが2枚挿入されているときは、PCカードを2枚同時に抜かないで ください。
- ATAカード上のファイルをアプリケーションから開いている場合は、ATA カード上のファイルを閉じてからスリープ状態にしてください。
- CardBus対応PCカードと通常のPCカード PCMCIA2.1/JEIDA4.2 を 同時に使用するときは、CardBus対応PCカードから先に挿入してください。

- ・CardBus対応PCカードと通常のPCカード(PCMCIA2.1/JEIDA4.2)を 同時にを使用しているときに、サスペンド / レジュームや、Windowsの起動 / 再起動を行う場合は、いったん、PCカードを抜いておいてください。 Windowsの起動が完了してから、再度カードを挿入してください。
- 一度CardBus対応PCカードを使用したスロットに通常のPCカード (PCMCIA2.1/JEIDA4.2)を挿入すると、正常に動作しないことがあります。このようなときには、Windowsの再起動を行ってください。

PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- ・濡らさないでください。
- ・重いものを乗せたり、ねじ曲げたりしないでください。
- ・ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。
- ・本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していないPC カードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し込むと、 故障の原因となります。

PCカードのセットのしかたと取り出し方

⚠注意



本機の使用中や使用直後はPCカードが熱くなっていますので、出し入れ にご注意ください。

- ✓ チェック!・PCカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。まち がった向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあ ります。
 - ・本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。
 - アプリケーションを使用中は、PCカードをセットしたり、取り出したりしないで ください。

PCカードのセットのしかた

1 PCカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、水平に 静かに差し込む



PCカードの取り出し方

- 1 タスクバーにあるPCカードのアイコン ●をダブルクリックする 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示されます。
- 2 取り外したいPCカードをクリックする
- 3 「終了」ボタンをクリックする しばらくすると、「このデバイスは安全に取り外せます」と表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- **5** イジェクトボタンを押す ボタンが手前にとび出します。





7 PCカードが少し出てくるので、水平に静かに引き抜く



上記の手順を使わずにPCカードを抜き取ると「予期しないPCカードの取り外し」ウィンドウが表示される場合があります。

PCカードの設定

PCカードを使用するときには、次のような設定が必要な場合があります。

割り込みレベルの設定

PCカードによっては、割り込みレベルの設定が本機の他の設定と重なる場合があります。PCカードのマニュアルと、このマニュアルのPART4の「割り込みレベル・DMAチャネル(p.130 をご覧になり、割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。



メモリ(RAM)の増設

オプションの増設RAMボードを付加することで、より多くのアプリケーションを同時に立ち上げたり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

本機に使用できる増設RAMボードは次のとおりです。

	メモリ容量
PK-UG-M012	32Mバイト
PK-UG-M013	64Mバイト
PK-UG-M014	128Μバイト

本機にはメモリスロットが2つあり、最大256Mバイトまでメモリを増設する ことができます。

増設RAMボードの取り付けと取り外し





増設RAMボードの取り付け/取り外しをするときは、本機の電源を切った あと、電源コードとバッテリパックを取り外してください。電源コードやバッ テリパックが取り付けられたまま増設RAMボードの取り付け/取り外しを すると、感電の原因となります。

- ◆チェック? ・ 増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設 RAMボードを扱うと破損する原因となります。 増設RAMボードに触れる前に、 アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除い てください。
 - ・増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、 故障の原因となります。
 - ・ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
 - ・増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネク タ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意して ください。

増設RAMボードの取り付け方

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 4 バッテリパックを本機から取り外す(p.41)
- 5 図のネジをプラスドライバで取り外す



6 メモリスロットのカバーを取り外す



7 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部に合わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する (実物はイラストと多少異なる場合があります)



メモリスロットには、あらかじめメモリボードが取り付けられています。メモリ を最大容量(256Mバイト)に増設する場合は、取り付けられているメモリ ボードを取り外して、128Mバイトの増設RAMボードを2枚取り付けてくだ さい。
8 カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機のコネクタに 強く倒し込む



9 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本機底面に取り 付ける

10 バッテリパックとACアダプタを取り付ける

ハイバネーション機能 p.48 を使用する方は、続けて次の手順11~13の 操作を行ってください。この操作を行わないと、ハイバネーション機能が使用 できなくなります。

11 本機の電源を入れる

▼チェック! 本機を起動するとメッセージが表示されますが、ご使用上支障ありません。

- 12「ハイバネーションの設定を解除する(p.49)の手順にした がって設定を解除する
- **13**「ハイバネーション機能を使えるように設定する(p.48)の手順にしたがって再設定を行う

メモリ増設後は、「増設したメモリ(RAM)の確認(p.100)に従って、増設が正しく行われたかどうか確認してください。

増設したメモリ(RAM)の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「コントロー ルパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 表示された「システムのプロパティ」の「情報」タブで確認する

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・本機で使用できる増設RAMボードを取り付けているか
- ジチェック
 システムの状態によっては、
 増設したメモリ分より容量が少なく表示される場合
 があります。

増設RAMボードの取り外し方

- 1 「増設RAMボードの取り付け方」の手順1~6に従って、メモリス ロットのカバーを取り外す
- 2 コネクタの両端部分を左右に押し広げながら、増設RAMボードを 斜めに引き抜く



3 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本機底面に取り 付ける

4 バッテリパックを取り付ける

ハイバネーション機能 p.48 を使用する方は、続けて次の手順5~7の操作を行ってください。この操作を行わないと、ハイバネーション機能が使用できなくなります。

5 本機の電源を入れる

▼チェック! 本機を起動するとメッセージが表示されますが、ご使用上支障ありません。

- **6**「ハイバネーションの設定を解除する(p.49)の手順にした がって設定を解除する
- **7**「ハイバネーション機能を使えるように設定する(p.48)の手順にしたがって再設定を行う



ポートバーを使う

別売のポートバー(PC-VP-WU04)を利用すると、本機を携帯して使用する ときに毎回、接続してあるすべての周辺機器の取り付け/取り外しを行わな くても、ポートバーの取り付け/取り外しのみで済むので便利です。

ポートバーの取り付け方と取り外し方

本機では、電源が入った状態でポートバーの取り付け / 取り外しができます。

ポートバーの取り付け方

1 拡張用コネクタのカバーを取り外す



2 コネクタの向きに注意して、ポートバーを本機の拡張用コネクタ に取り付ける

このときに、ロックレバーが図の位置(外側)にあることを確認してください。







ポートバーの取り外し方

1 ポートバーの両端にあるロックレバーを図のように外側に倒す



2

周辺機器を使う





3 拡張用コネクタにカバーを取り付ける



その他の機器を使う

本機では、次のような別売の機器を使用することができます。

種類	機器
オーディオ機器	ヘッドホン、マイクロホン、オーディオ装置など
入力装置	マウス、外付けキーボード、テンキーボード、 デジタルカメラ、 イメー ジスキャナなど
通信機器	外付けモデム、ターミナルアダプタなど

本機のどのコネクタに機器を接続するかは、機器が使用しているインターフェ イスによって異なります。また、機器によってインターフェイスが決まってい る訳ではありません。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

✓ チェック! 本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、周辺機器を接続した り、接続していた機器を取り外したりしないでください。本機の機器構成が変更 されると、データが消えてしまうことがあります。

シリアルコネクタ

シリアル対応機器を接続するためのコネクタです。一般的なコンピュータ用 語ではこれをシリアルポートと呼び、WindowsではCOM1やCOM2の名称 で呼んでいます。

パラレルコネクタ

別売のプリンタを取り付けるためのコネクタです。 パラレル対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。 なお、WindowsではプリンタポートまたはLPT1と呼んでいます。

USBコネクタ

USB対応機器を取り付けるためのコネクタです。 USBとはUniversal Serial Busの略称で、シリアルポートよりはるかに高速なデータ転送が可能なインターフェイスです。 USB対応機器は、コネクタの形状が統一されており、127台までの機器を接続することができます。また、電源を切らずにプラグの抜き差しが可能で、プラグ&プレイ機能にも対応しています。

チェック? ・コントロールパネルの「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「デ バイスマネージャ」の画面にある「ユニバーサルシリアルコントローラ」の記述 は削除しないでください。

> ・ケーブルをすばやく差したり斜めに差したりすると信号が読みとれず、不明な デバイスとして認識されることがありますので、その場合はいったんケーブル をUSBコネクタから抜いて、もう一度正しく接続し、アプリケーションを再起動 してください。

別売の外付けUSBキーボードの接続

別売の外付けUSBキーボードは、USBコネクタに取り付けます。 別売の外 付けUSBキーボードには、USBコネクタが用意されており、別売のUSB機器 を取り付けることができます。

別売の外付けUSBキーボードをご使用になる場合は、外付けUSBキーボードに添付のマニュアルを参照し、ドライバのセットアップを行ってください。

ジチェック! Windows 95のSafeモードやMS-DOSモードで起動したときは、外付けUSB キーボードを使うことはできません。

> 外付けUSBキーボードの設定は、本機のキーボードと同じように、Windows で設定することができます。



ジチェック!! USBマウス使用時にNXパッドを無効にしたい場合は、BIOSセットアップメ ニューの「NXパッド&PS/2マウス」の設定を「使用しない」にしてください(

マウス / テンキーボード用コネクタ

別売のマウスやテンキーボードなどのPS/2タイプのオプションを取り付ける ためのコネクタです。

チェック!! マウスやテンキーボードを接続するときは、必ず、「スタート」ボタン
 「Windowsの終了」で本機の電源を切ってから接続してください。



マウスとテンキーボードの両方を同時に接続したいときは、別売のYケーブル、またはマウスに添付されているYアダプタを使ってください。

DCコネクタ

添付のACアダプタの他に、カーアダプタ(PC-VP-WP05)を接続することが できます。

カーアダプタを使うと、車のシガーライターからバッテリを充電することができます。

▼ チェック!・カーアダプタを接続する場合は、必ず本機の電源を切ってから接続してください。

・車が走行しているときには本機の電源を入れないでください。振動 / 衝撃な どによって本機が故障するおそれがあります。





システムの設定

セキュリティや省電力など、本機の使用環境の設定について説明します。設定方法をまちがえると正しく動作しなくなってしまうので、十分注意してください。

また、必要がある場合以外は設定値を変更しないでください。

このPARTの内容

BIOSセットアップメニュー

BIOS セットアップメニュー

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵されています。

画面上では「PhoenixBIOSセットアップユーティリティ」と表示されます。

BIOSセットアップメニューを使ってできること

次のような設定ができます。

- ・現在の日付と時間の設定
- ・BIOSセットアップメニューで使用する言語の選択
- ・ハードウェア環境の確認と変更
- ・セキュリティの設定
- ・省電力の設定
- ・起動デバイスの起動順位の設定

BIOSセットアップメニューを日本語表示にするには

1 本機の電源を入れる

2 NECのロゴが表示されているうちに【F2】を押す 次のような画面が表示されます。

F	hoenixBIOS Setup Utility	
Main Advanced	Security Power Boot Exit	
System Time :	[hh:mm:ss]	Item Specific Help
System Date : Language :	[mm/dd/yy] [English(US)]	<tab>,<shift-tab></shift-tab></tab>
Diskette A: ▶ Internal HDD: Internal CD–ROM:	[1.44/1.25MB 3 ¹ /2"] [XXXXMB] Installed	field.
Boot Display Device:[Both]System Memory :XXXKBExtended Memory :XXXXKBCPU TypeXXXCPU SpeedXXXMHzBIOS VersionXXX-XXXX-XXXX/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
F1 Help↑↓ Select I Esc Exit ←→ Select I	ltem F5/F6 Change Values Menu Enter Select ▶ Sub-Menu	F9 Setup defaults F10 Save and Exit

- **3** キーボードの【 】を押して「Language」にカーソルを合わせ、 【Enter】を押す
- 4 キーボードの【 】を押して「日本語(JP)」にカーソルを合わせ、 【Enter】を押す
- 5 キーボードの【 】 」でメニューから「終了」を選ぶ
- 6 「変更を保存して終了する」を選ぶ これで、BIOSセットアップメニューが日本語で表示されるようになりま す。

BIOSセットアップメニューを使う

BIOSセットアップメニューの起動とメイン画面

1 電源を入れた直後に表示されるNECのロゴの画面で【F2】を押す

次のようなメイン画面が表示されます。

PhoenixBIOSセットアップユーティリティ			
メイン 詳細 セキュリティ	省電力管理 起動 終了		
システム時刻:	[hh:mm:ss]	項目ヘルプ	
システム日付: 言語:	[yy/mm/dd] [日本語(JP)]	<tab>キー、<shift- Tab>キー、<enter></enter></shift- </tab>	
フロッピーディスクA: ▶ 内蔵HDD 内蔵CD-ROM	[1.44:1.25MB 3.5''] [XXXXMB] 組み込み済	キーは、項目を選択 します	
起動時表示デバイス: システムメモリ: 拡張メモリ: CPUタイプ CPU速度 BIOSパージョン	[両方] XXXKB XXKB XXX XXXXX Mhz XXXXXX Mhz XXXX-XXXX-XXXX/XXXX		
F1 ヘルプ ↑↓項目の選択 Esc 終了 ←→ メニューの運	F5/F6 値の変更 訳 Enter ▶サプメニューの選択	F9 デフォルトの設定 F10 保存して終了	

BIOSセットアップメニューの終了(変更を保存して終了する)

1 メイン画面で【F10】を押す

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

2「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

また、メニューバーの「終了」でもBIOSセットアップメニューを終了すること ができます。

メニューバーからの終了

【 】 】でメニューバーの終了を選択すると、以下のメニューが表示されます。

変更を保存して終了する システムの設定を終了して、変更内容を保存します。

変更を保存せずに終了する 設定値を保存せずにBIOSセットアップメニューを終了します。

デフォルト値をロードする

すべての設定項目にデフォルト値を書き込みます。

変更を取り消す

すべての設定項目に対して変更前の値を読み込みます。

変更を保存する 設定値を保存します。

バッテリリフレッシュ

バッテリリフレッシュは、バッテリの機能を回復させるための機能です。 バッテリリフレッシュを実行するためには、「終了」メニューから「バッ テリリフレッシュ」を選びます。詳しい手順についてはp.38をご覧くだ さい。

工場出荷時の値に戻す

- キーボードの【F9】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- **2**「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す デフォルト値を読み込みます。
- 3 キーボードの【F10】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定の変更を保存して終了します。

また、メニューバーの「終了」でもデフォルト値の設定ができます。

設定項目一覧

ここでは、BIOSセットアップメニューでどのような設定ができるかを説明して います。表中の____」は、ご購入時の設定です。

メインの設定

システム時刻

現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

システム日付

日付を「年 / 月 / 日」で入力します。言語を英語に設定している場合 は、「月 / 日 / 年」で入力します。

言語

BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選べます。

フロッピーディスクA

フロッピーディスクドライブのモードを選びます。

設定項目	設定内容	1
フロッピーディスクA	使用しない	
	1.44/1.25MB	3.5"

プライマリマスタ(内蔵HDD)

現在接続されているIDEデバイスが表示されます。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。 【ESC】を押すとメイン画面に戻ります。

設定項目	設定内容	説明
タイプ	自動 / ユーザ	BIOSが自動的にシリンダ、ヘッド、 セクタを設定します。 設定は変更しないでください。
32ビット1/0	使用しない / 使用する	32ビットIDEデータ転送を使用す るかどうかを設定します。

セカンダリマスタ(内蔵CD-ROM) 内蔵CD-ROMの接続を表示します。

起動時表示デバイス

「LCD / CRT / 両方」の3つからディスプレイデバイスを選びます。 ご購入時には「両方」に設定されています。

システムメモリ

搭載されているシステムメモリ容量を表示します。

拡張メモリ

搭載されている拡張メモリを表示します。

CPUタイプ CPUタイプを表示します。

CPU速度 CPU速度を表示します。

BIOSバージョン BIOSのバージョンを表示します。 詳細の設定

NXパッド& PS/2マウス

PS/2マウスまたはNXパッドを使用するかどうかを選びます。

ご購入時には「自動」に設定されています。

「自動」に設定すると、PS/2マウスを接続した場合、PS/2マウスのみが 有効となり、NXパッドが使用できなくなります。

「両方」に設定すると、PS/2マウスとNXパッドの両方を同時使用する ことができます。

USBマウスを使用するときNXパッドを無効にしたい場合は、「使用 しない」に設定します。

サイレントブート

「自己診断画面 / ロゴ画面 / 非表示」の3つからブート時の画面を選び ます。

ご購入時には「ロゴ画面」に設定されています。

起動時のNumLock

起動時にNumLockをオンにするかどうかを選びます。 ご購入時には、オフに設定されています。

セットアップ移行画面表示

起動時のNECロゴマークの下部に表示されるセットアップ画面への 移行に関するメッセージを表示するかどうかを選びます。 ご購入時には「表示」に設定されています。

ハイバネーション警告表示

ハイバネーションの警告に関するメッセージを表示するかどうかを 選びます。

ご購入時には「表示」に設定されています。

ローカルバスIDEアダプタ

ご購入時の設定のままお使いください。

LCDパネル拡大表示

LCDパネルの最大表示サイズ以下の表示画面サイズを選びます。 ご購入時には「オフ」に設定されています。 周辺機器設定

各種周辺機器の設定を行います。この項目にカーソルを合わせ 【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。 【Esc】を押すとメイン画面に戻ります。

設定項目	設定内容	説 明
シリアルポート	使用しない	シアルポートは使用できません。
	使用する	ユーザが1/0ベースアドレスを 設定することができます。
	自動	BIOSがI/Oペースアドレスと 割込み番号を自動的に設定 します。
赤外線ポート	使用しない	赤外線ポートは使用できません。
	使用する	「使用する」にすると赤外線 ポートのモード、I/0ベースアド レス、DMAチャネルを設定で きます。
	自動	自動的に赤外線ポート設定を 行います(赤外線ポートの モードを設定できます)。
モード	IrDA/FIR	赤外線ポートを「使用する」また ば「自動」に設定すると表示され ます。赤外線ポートにモード設定 します。
1/0ベースアドレス	3F8/2F8/3E8/2E8	赤外線ポートを「使用する」に設定すると表示されます。赤外線 ポートに1/0ベースアドレスを設定します。
DMA チャネル	DMA0/DMA1	赤外線ポートを「使用する」に設定 すると表示されます。赤外線ポートにDMAチャネルを設定します。
パラレルポート	使用しない	パラレルポートは使用できません。
	使用する	ユーザがパラレルポートの モード、I/0ベースアドレス、 DMAチャネルを設定すること ができます。
	自動	BIOSが自動的にパラレル ポートの設定を行います。
モード	出力のみ / <mark>双方向</mark> / ECP	パラレルポートのモードを設定 します。
フロッピー コントローラ	使用しない/使用する	本機でば 使用する」のままで ご使用ください。

セキュリティの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。

メモ

スーパバイザパスワードは、BIOSセットアップメニューの使用者を制限する ための機能です。

スーパバイザパスワードの設定を行うとBIOSセットアップメニュー起動時に パスワードの入力画面となり、設定されたスーパバイザパスワードを入力しな い限りBIOSセットアップメニューの起動はできません。

ユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューの使用者を制限し、BIOS セットアップメニューで設定可能な項目も制限するための機能です。

参照 セキュリティ機能 p.52)

スーパバイザパスワード設定

スーパバイザパスワードの設定を行います。

キーボードの【 】 『で項目を選択し【Enter】を押すとパスワード 設定の画面が表示されます。

ユーザパスワード設定

ユーザパスワードの設定を行います。

キーボードの【 】 『で項目を選択し【Enter】を押すとパスワード 設定の画面が表示されます。

起動時のパスワード システム起動時にパスワード入力を行うかどうかの設定を行います。

ハードディスク起動セクタ

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかどうかの設定を 行います。

書き込み禁止にすると起動セクタをウィルスから保護します。

フロッピーディスクアクセス

「スーパバイザ」に設定すると、ユーザパスワードで起動した状態では フロッピーディスクドライブに対してアクセスできなくなります。

- チェック? 設定したパスワードを忘れないようにしてください。パスワードは、本機を再セットアップしても解除できません。パスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要です。 Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。
 - 参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテ ナンス&サポートのご案内』

パスワードの解除処置を依頼されるときは、次のことをご確認ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となり ます。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお 受けいたします。

システムの省電力管理設定を行います。

電源スイッチ

「スリープ」に設定すると、電源スイッチでスリープすることができます。ご購入時には「パワーオフ」に設定されています。

AC電源時の省電力

「使用する」に設定すると、ACコンセント接続時においても省電力 モードが有効になります。

省電力

パワーマネジメントモードを選びます。モードを選ぶことによってシ ステムのパワーマネジメント設定を変更します。

設定項目	設定内容	説 明
省電力	使用しない	パワーマネジメント機能を禁止 します。
	カスタマイズ	各種タイムアウト時間をユーザ 自身で選べます。
	最大省電力	消費電力を最小限におさえる ことができます。このときのタイ ムアウト時間は以下のとおり です。
		スタンバイタイムアウト:1分 自動サスペンドタイムアウト:5分 ハードディスクタイムアウト:1分 ビデオタイムアウト:2分
	最大パフォーマンス	電力をより多く消費しますが、シ ステムパフォーマンスは最大限 に発揮します。このときのタイム アウト時間は以下のとおりです。
		スタンバイタイムアウト:16分 自動サスペンドタイムアウト:60分 ハードディスクタイムアウト:15分 ビデオタイムアウト:15分

スリープモード

「サスペンド」ハイバネーション」のどちらかからスリープモードの タイプを選びます。ご購入時には「サスペンド」に設定されています。

自動ハイバネーション

「オフ」または「1時間後」に設定します。ご購入時には「オフ」に設定されています。「1時間後」に設定した場合は、サスペンド後1時間が経過 すると自動的にハイバネーションに移行します。

LCD連動スリープ

「使用する」「使用しない」のどちらかから、液晶ディスプレイを閉じた ときの動作を選びます。ご購入時には「使用する」に設定されていま す。

モデムリングによるレジューム(FAXモデム内蔵モデルのみ) 「オン」に設定すると、モデムが呼び出し信号を受信したときに、シス テムをスリープ状態から復帰します。ご購入時には「オフ」に設定され ています。

レジューム時刻

「オン」に設定すると、レジューム時刻設定時間に自動的にシステムを サスペンド状態から復帰します。ご購入時には「オフ」に設定されてい ます。

起動順位の設定

起動するデバイスを優先順にしたがってリスト表示します。番号が小さいデ バイスからオペレーティングシステムを起動します。もしオペレーティングシス テムが存在しないなど起動に失敗した場合は次のデバイスから起動します。

起動するデバイスを変更するには【 】)を使用して変更したいデバイス にカーソルを合わせます。【F6】を押すとリストの上側に移動し、【F5】を押す とリストの下側に移動します。

なお、ニューメリックロックランプ 11 が点灯しているときには前面に【+】- 】 の刻印のあるキーでもリストの上下にカーソルを移動させることができます。



付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

このPARTの内容

本機のお手入れ 機能一覧 割り込みレベル・DMA チャネル



本機のお手入れ

ここでは、パソコンのお手入れの方法を説明しています。

準備するもの

汚れが軽いとき

乾いたやわらかい素材のきれいな布

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませ堅くしぼったきれいな布

0A機器用クリーニングキットも汚れを拭き取るのに便利です。 0A機器用クリーニングキットについてはご購入元、NECサービスセン ター、サービスステーションに問い合わせてください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』

∧注意

パソコンのお手入れをはじめる前に



お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。 電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

パソコンのお手入れをはじめる

パソコンのお手入れをするときは、次のことに注意してください。

- チェック! ・水やぬるま湯は、絶対に本機に直接かけないでください。本機の傷みや故障の原因になります。
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わな いでください。本機の傷みや故障の原因になります。





型番の読み方と機能仕様

PC-VA***W * * * * 6 CPU周波数 36 : 366MHz 33 : 333MHz 30 : 300MHz CPUタイプ D: Mobile Pentium[®] プロセッサ H : Mobile Intel[®] Celeron[™] プロセッサ ディスプレイタイプ X : 14.1インチXGA TFT液晶ディスプレイ T: 13.3インチXGA TFT液晶ディスプレイ S:SVGA TFT液晶ディスプレイ インストールソフトウェアタイプ A:Windows 95のみ F:Windows 95(一太郎モデル) G:Windows 95(Wordモデル) ハードウェア種別1 A:CD-ROMあり Y:CD-ROMなし ハードウェア種別2(通信機能 / メモリ容量) A:LAN内蔵/32Mバイト B:LAN内蔵/64Mバイト C:LAN内蔵/96Mバイト M:なし/32Mバイト N:なし/64Mバイト R:なし/96Mバイト T:モデム内蔵/32Mバイト U:モデム内蔵/64Mバイト V:モデム内蔵/96Mバイト ハードディスク容量 4 : 約4.3Gバイト

6 : 約6.4Gバイト

の項目の仕様は、ご使用のモデルによって異なります。

					1
型	名	VA36D/WX	VA33D/WX VA33D/WT	VA33D/WS	VA30H/WS
型	番	PC-VA36DWX	PC-VA33DWX PC-VA33DWT	PC-VA33DWS	PC-VA30HWS
C F	ΡU	Mobile Pentium® プロセッサ366MHz	Mobile Pentium® プ	ロセッサ333MHz	Mobile Intel®Celeron™ プロセッサ300MHz
	内蔵キャッシュメモリ	32Kバ イ ト			
セオ	コンドキャッシュメモリ	256KバイH(CPU内	蔵)		128Kバイト(CPU内蔵)
쏫	ROM	512Kバイト(BIOSIE	ŧか)		
IJ	メインRAM	標準 32Mバイト/6	64Mバイト/96Mバイト		
	最大	256Mバイト(別売の	増設RAMボード(128	3Mバイト)を2枚増設	した場合)
	ビデオRAM	2Mバイト			
表示機能	表示素子 1	 VA36D/WX、VA33D/WXの場合 バックラ小付き12.1インチTFTカラー液晶 ディスプレイ VA33D/WTの場合 バックライト付き13.3インチTFTカラー液晶 ディスプレイ 			
	ウィンドウアクセラレータ	セラレータ Neo Magic社製NM2160標準搭載(ビデオアクセラレーション 640×480ドッド(16色/26万色中256色/ 65536色/1677万色*)、 800×600ドッド(26万色中256色/65536色/ 1677万色*)、 1024×768ドッド(26万色中256色/65536色) *:ウィンドウアクカラレータのディザリング準能にといま理 によいま理想			'機能対応)
					256色 / 65536色 / 中256色 / 65536色 / ータのディザリング機能
	別売のC R T ディスプレイ接続時	640×480ドット(16色/256色/65536色/1677万色)800×600ドット(256色/65536色/1677万色)1024×768ドット(256色/65536色)			
¢	サウンドチップ	ESSテクノロジー社事	製 ES1968S(Maest	ro2)搭載	
ウンド	PCM録音·再生機能	機能 内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/ 22.05KHz/44.1KHz/48KHz)、全二重対応			.025KHz/
機能	MIDI音源機能	内蔵(拡張WAVE Table音源[WAVE Table音源最大64音])			
130	スピーカ・マイク	ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵			
	サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能、3Dポジショニング機能			
通	LAN	なし / LAN内蔵(100BASE-TX / 10BASE-T)			
信機能	モデム	なし/モデム内蔵 データ転送速度 最大56kbpg(K56flex/V.90)エラー訂正 V.42/MNP4 データ圧縮V.42bis/MNP5)			
	FAX	なし / 内蔵 データ	転送速度 最大14.4	Kbps(V.17)FAX制御]クラス1
入力装	キーボード	本体との一体型、JIS ンキー・Windowsキー	。標準配列(英数・かな ・アプリケーションキー	:)Fnキー(ホットキー対 ・Num Lockキー・右Al	対応) 12ファンクショ tキー・右Ctrlキー付
置	置 ポインティングデバイス NX パッド標準装備				

型	名	VA36D/WX	VA33D/WX VA33D/WT	VA33D/WS	V A 3 O H / W S
型	番	PC-VA36DWX	PC - VA33DWX PC - VA33DWT	PC-VA33DWS	PC-VA30HWS
補助	フロッピーディスク ドライブ	3.5インチフロッピー モードに対応)	・ディスクドライブ × 1p	内蔵(720K/1.2M/1.4	44Mバイトタイプの3
記倍	固定ディスクドライブ	内蔵(約4.3Gバイト	/約6.4Gバイト)		
Water State St				1 / 2、CD - ROM XA 音速(平均17倍速) 外周で24倍速	
个	<i>ッ</i> ターフェイス	マウス / テンキーボ アル(D-SUB9ピン、」 号出力、ミニD-SUB1 U S B	ード(PS/2タイプミニD 最高115.2Kbps対応 らピン)、赤外線通信(01N6ピン) パラレル 5) ディスプレイ(アナ 1 rDA規格準拠、デー	D-SUB25ピン)シリ ログRGBセパレーH信 夕転送速度4Mbps)
	サウンド関連	ライン入力(ステレオ ニジャック)、マイクノ	ト、ミニジャック) ヘット 入力(モノラル、ミニジ	「ホン出力 / ライン出〕 ャック)	カ共用(ステレオ、ミ
PC	カードスロット	TYPE ×2スロット(TYPE ×1スロットとしても使用可) ⁷ PC Card Standard 準拠、CardBus/ZVポート対応 ²			
パ	ワーマネージメント	 自動または任意設定可能			
セキュリティ機能 ユーザバスワード機能、スーパバイザバスワード機能、盗難防止ロック(市販の) 防止用ケーブルを使用)		トロック(市販の盗難			
バッテリ駆動時間。		約1.5~2.5時間			
バッテリ充電時間 6 約2.8時間		約2.8時間			
バッテリによるスタン バイ状態保持時間 ⁶ 約6日 (バッテリフル充電時)					
電	源	ニッケル水素バッテリCO2.6V、3,800mAh) ³ またはAC100V±10%、50/60Hz (ACアダプタ経由 ⁴)			
消	費電力	約20W			
		内蔵オプション最大接続時 約500			
温湿度条件		5~35、20~80% (ただし、結露しないこと)			
外	形寸法	VA36D/WX、VA33I 305(W)×250((最上部43(H)m VA33D/WTの場合 299(W)×247((最上部42(H)m	D/WXの場合 D)×41(H)mm m∬突起部含まず) D)×39(H)mm m∬突起部含まず)	299(W)x247(D) (最上部42(H)mm)×39(H)mm (突起部含まず)
重	量 6	VA36D/WX、VA330 約3.2kg VA33D/WTの場合 約2.9kg)/WXの場合	約2.8kg	

1 液晶ディスプレイは消耗部品です。

流品ディスプレイでは、明らなのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。 また、輝度の調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがあります が、故障ではありません。 2 ZVポート対応のPCカードは上のスロットのみで使用できます。

3 パッテリパックは消耗品です。 4 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。 5 18 ~ 28 、45%~75%での使用を推奨。

6 時間や重量は、本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。 7 MS-DOSモードでは使用できません。

内蔵FAXモデム機能仕様(FAXモデム内蔵モデル)

+414	台七	北田石	Ŧ
慨	ΠĒ	怟	安

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス	
	16550A相当(1/0アクセス、割り込み)	
NCU部	・ダイヤルパルス送出機能	
	・リンガ検出機能	
モデムチップセット部	・CPU直結パラレルアクセスによる高スループット	
	K56flex, V.90	
	V.34	
	V.32bis	
	V.32, V.22bis, V.22, V.21	
	V.42LAPMおよびMNP2-4エラー訂正	
	V.42bisおよびMNP5データ圧縮	
	・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度	
	V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2	
	・HayesATコマンドセット準拠	
	ATコマンド	
	Sレジスタ	
	・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン	
	・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択	
	・フロー制御およびスピード・バッファリング	
	・パラレル非同期データ	
	・自動ダイヤルおよび自動アンサー	
	・トーンおよびパルスダイヤリング	
	(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)	

FAX機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps
	DPSK:4800/2400bps
	FSK:300bps
送信レベル	-6~-15dBm(出荷時-15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

データモデム機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送受信 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/
	14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 1
	受信 56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/
	40000/38000/36000/34000/32000 1
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21
変調方式	TCM:56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/
	40000/38000/36000/34000/33600/32000/31200/28800/26400/
	24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps
	QAM:9600/7200bps
	DPSK:4800/2400/1200bps
	FSK:1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42
	MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis
	MNP class5
送信レベル	-6~-15dBm(出荷時-15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	HavesATコマンド準拠 ²

1 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

2 ATコマンドについては、以下のファイルを参照

C: ¥Windows ¥ATCREAD.DOC

NCU機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル形式	パルスダイヤル(10/20PPS)
	トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信/自動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠
	EIA-578拡張ATコマンドAT(class 1)

内蔵LAN機能仕様(LAN内蔵モデル)

規格概要

項 目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3, IEEE802.3, IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3、4、5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台 / ネットワーク
ステーション間距離	約200m
ネットワーク経路長	約200m / ステーション間
	最大100m / セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

リピータの台数など、条件によって異なります。

割り込みレベル・DMAチャネル

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用して います。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル(IRQ)」「DMAチャネ ル」などがあります。

割り込みレベルとDMAチャネルについて

「割り込みレベル(IRQ)」は、複数の機器から同時にCPUにアクセスしたときに、どのような順序で処理していくかを決めるもので、「DMA チャネル」は CPUを経由せずに周辺機器とメモリとのデータのやり取りを制御する機能の ことです。これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければ なりません。リソースが複数の機器に割り当てられている状態、リソースの競 合)では、機器が正常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安 定になってしまいます。

割り込みレベル

IRQ	インターフェイス	IRQ	インターフェイス
0	システムタイマ	9	(空き)
1	キーボード	10	内蔵FAXモデム*2
2	割り込みコントローラ]	内蔵LANインターフェイス ^{*3}
3	赤外線通信*1]	CardBusコントローラ
4	通信ポート	1	アクセラレータ
5	サウンド	11	(空き)
	USBホストコントローラ	12	NXパッド
	PCIステアリングホルダー	13	数値データプロセッサ
6	フロッピーディスクコントローラ	14	IDEコントローラ(内蔵ハードディスク)
7	プリンタポート	15	IDEコントローラ(内蔵CD-ROM)
8	システムクロック		

*1: 赤外線通信機能使用時

*2: FAXモデム内蔵モデルのみ

*3:LAN内蔵モデルのみ

DMAチャネル

DMA	インターフェイス
#0	赤外線通信*4
#1	プリンタポート
#2	フロッピーディスクコントローラ
#3	サウンド*5
#4	DMAコントローラ

*4:赤外線通信機能使用時

*5:赤外線通信機能を使用していないときには、サウンドのDMAは#1になります。



索 引

英字

あ行

アクセスランプ6
液晶ディスプレイ30
オーディオ入力端子 3
お手入れ122
音量調節つまみ3

か行

解像度 31, 88, 90
外部ディスプレイ88
外部マイクロホン端子3
画面表示機能30
起動順位120
キーボード7
輝度

キャップスロックキーランプ	. 6
共有プリンタ	87
クライアントモニタリング	72
クリック	14
クリックボタン	. 2

さ行

サウンド	57
サスペンド	43, 45
サスペンド/スタンバイランプ	6
充電	35
周辺機器	79
省電力機能	43
シリアルコネクタ	105
スーパバイザパスワード	52, 117
スキャンディスク	22
スクロールロックキーランプ	6
スタンバイモード	43, 45
スピーカ	2
スリープ	43
赤外線通信ポート	. 3, 56
赤外線通信機能	55
セキュリティ機能	52, 117
増設RAMボード	96

た行

タップ14
ダブルクリック 14
ダブルタップ14
通風孔2
デバイスドライバ81
デフラグ23
テンキーボード107
電源スイッチ 2
電源ランプ 5
電話回線用モジュラーコネクタ 2,62
盗難防止用ロック2
ドラッグ15

な行

内蔵マイクロホン 2
内蔵モデム 61, 127
日本語入力12
ニューメリックロックキーランプ6
ネットワーク通信機能66
ネットワークブート

は行

バーチャルスクリーン33
ハードディスク 19
ハードディスクアクセスランプ6
ハイバネーション 43, 48
パスワード 52, 117
バッテリ残量
バッテリ充電ランプ 6, 35
バッテリパック 40
バッテリリフレッシュ38
パラレルコネクタ105
パワーマネージメント 43, 51
非常時ディスク取り出し穴 29
表示色 31,88
表示ランプ5,6
プラグ&プレイ 82
プリンタ 82, 83
プリンタケーブル83
フル充電35
プロジェクタ90
フロッピーディスクイジェクトボタン 25
フロッピーディスクドライブ24
フロッピーディスクアクセスランプ 6
ヘッドホン / オーディオ出力端子 3
ポートバー102
ポインティングデバイス 14
ポインタ 14
ホットキー機能 9

ま行

マウス / テンキーボード用コネクタ10	7
メモリ9	6
メモリ効果3	8
メモリスロット9	8
モジュラーケーブル6	2

や行

ユーザパスワード	52,	117
ユニバーサル管理アドレス		. 70

ら行

リソースの競合8	0
リモートコントロール7	2
リンクケーブル6	8
レジューム 43, 4	17
ロックレバー	2

わ行

割り込みレベル130





このマニュアルはエコマーク認定の再生紙 (古紙率:表紙50%、本文100%)を使用しています。

活用ガイド ハードウェア編

PC98-NX SERIES VersaPro NX

VA36D/WX · VA33D/WX · VA33D/WT VA33D/WS · VA30H/WS

(Windows 95 インストール)

初版 1999年5月 NEC P